

# 「徳島ファン」創出・拡大基盤の構築

【令和元年度予算額 11,800千円】

## これまでの取組み

- 「サテライトオフィス・プロジェクト」や「デュアルスクール」での二地域居住をはじめ、全国に先駆け「徳島ファン（関係人口）」創出に繋がる取組みを推進



## H30年度取組み

総務省「『関係人口』創出事業」  
モデル事業に採択！

- 連携3市町村での「協働実践活動」モデル実施で、「徳島ファン（関係人口）」創出スキームを実証！



## 今後の方向性

昨年度の事業成果をベースに、

- 「徳島ファン（関係人口）」創出の取組みを横展開
- 「徳島ファン（関係人口）」の裾野拡大

## 新 新たな地域づくりの担い手！「徳島ファン」創出加速化事業【5,000千円】

### STEP1

#### 徳島ファンの「掘り起こし」

##### ◆「徳島ファン・募集セミナー」の開催

- 都市部において、市町村（ニーズ）とつながる課題解決に意欲的な徳島ファン（シーズ）の掘り起こし

既存の枠組みも活用  
(県人会、同窓会など)



新 ふるさとネットワークで発掘！徳島ファン拡大事業  
【1,800千円】

##### ◆「徳島ファン・拡大イベント」の開催

- 県人会ネットワークを活用し、各々の地域で歴史・文化等のイベント開催

奈良県人会による「人形浄瑠璃」公演



- イベントを通じ「徳島ファン」の裾野拡大

### STEP2

#### 地域とつながる「きっかけ」づくり

##### ◆「エクスカージョン」の開催

- 課題解決に意欲のある方を対象とした地域における「体験型見学会」の実施
- 地域の人々、活動団体等との「交流」や地域の伝統文化や地場産業等の「魅力体験」

地域への「関心」から  
愛着を持った「関与」へ！



新 わくWORK徳島！新しいふるさと発見事業  
【5,000千円】

##### ◆地域暮らしをまるごと体感する機会の提供

- 都市部の若者に、地域との関わりを深めてもらうため、一定期間県内で就労しながら、地域と交流できる機会を提供

働いて収入を得ながら田舎暮らしを体感！



### STEP3

#### 地域とファンの「マッチング」支援

##### ◆県サイトのマッチング機能拡充

- 徳島ファンのスキル情報等を登録する「徳島ファン・バンク」の整備
- 市町村が希望する登録者にオファーできる仕組みの導入



##### ◆「徳島ファン・ドラフト会議」の開催

- プロ野球さながらのドラフト会議を開催し、徳島ファンの逆指名による市町村（地域）とのマッチング



QRコードで動画配信！



「徳島ファン」の拡大により「新たな「とくしま回帰」の流れ」を創出!!

担当：総合政策課、地方創生推進課

# 新 次世代地域公共交通ビジョン実装事業

【令和元年度予算額 314,266千円】  
【うち当初予算計上 227,566千円】

## 課題

- 1 公共交通の縮小均衡**
  - ・利用者や運転手の減少
  - ・路線の廃止減便の拡大
- 2 顕在化する新たな“需要”**
  - ・インバウンドの二次交通
  - ・免許返納後の移動手段
- 3 包括的な調整機能の不足**
  - ・鉄道とバスの平行運行
  - ・運行主体の多様化

地域公共交通の最適化の羅針盤となる  
「次世代地域公共交通ビジョン」の策定

## ビジョンの目指す方向性

「モーダルミックス」と「“つなぐ”仕組み」の実装により効率的な移動の実現へ！

鉄道やバス等を乗継ぐ  
効率的な移動

移動手段をつなぐ仕組み

コピバスや乗合タクシーなどの  
新たな移動手段

乗継拠点の創出

マイルール意識の醸成

モーダルミックスの推進

多言語表記化の推進

観光客が利用しやすい  
地域公共交通

ビジョンを先取りした処方箋を全面展開

## 令和元年度の主な取組み

- 1 交通資源の最適化の推進 124,000千円**
  - ・幹線バスへの支援強化 【6月補正】
  - ・新たな運行形態導入への支援 【6月補正】
  - ・コピバス等への支援強化
  - ・鉄道とバス等の乗継ぎ
  - ・パターンダイヤの導入
  - ・公共交通のオープンデータ化
- 2 公共交通の利便性向上 2,000千円**
  - ・乗継拠点の多言語表記化の推進 【6月補正】
  - ・乗継拠点の創出
- 3 公共交通の利用促進 7,700千円**
  - ・バスフリー乗車券の発行・PR 【6月補正】
  - ・公共交通のインバウンド対応
  - ・乗合・定額タクシー実証運行
  - ・マイルール意識の醸成
  - ・利用啓発イベントの開催



地方バス路線対策 180,566千円  
・幹線バスの維持・確保

県を挙げた連携で「未来へつなぐ」地域公共交通ネットワークを創生

# 新 自治体戦略2030構想・過疎対策研究事業

【令和元年度予算額 2,000千円】

【課題】 2040年には、「団塊ジュニア」世代が高齢者に！  
一方、徳島県では2030年に「75歳以上」人口がピークに！

社会経済全体で「労働力不足」が深刻  
⇒ 自治体においても「若年労働力の絶対量」が不足

## 「とくしま自治体戦略2030構想」研究会 【1,000千円】

国想定2040年を10年前倒し、「2030年」における本県「自治体行政のあり方」を検討するため、県・市町村・有識者等からなる「研究会」を設置

### <構想の基本テーマ>

#### I 「圏域行政」の推進と県・市町村の「二層化の柔軟化」

- ◆ 地域の実情・ニーズを踏まえた「規制緩和」や「制度創設」などの施策を検討し、国に対し積極的に提言

#### II スマート自治体への転換

- ◆ 本県が抱える様々な課題を共有し、AIやIoT等を活用した課題解決策の具現化・実装化を推進



#### III 新たな「公共私」相互間の協力関係を構築

- ◆ 行政機能と郵便局や福祉施設などの「生活機能施設」を集約
- ◆ カフェ、レストラン、宿泊施設などの「にぎわい交流拠点」を創設



## 徳島県過疎対策研究会 【1,000千円】

「新過疎法」の制定に向け、県・市町村・有識者等からなる「研究会」を設置

- ◆ 現行「過疎法」が令和2年度末で法期限

「過疎法」が失効すれば、  
過疎債、交付金、税制特例措置等の  
支援制度が消滅

- ◆ 一方、「過疎地域」では、人口減少や少子高齢化により、「深刻な状況」に直面し、なお一層の対策が必要

・担い手不足  
・地域経済の縮小  
・集落機能の低下 など

- ◆ 「新過疎法」の制定に向け、  
・「過疎対策の意義」の再定義  
・これまでの延長線上にない  
「新たな支援策」の創設 など  
地域の実情を踏まえた意見を取りまとめ、  
国に対し積極的に「政策提言」を実施

# 未知なる「人口減少社会」における課題解決の処方箋「徳島モデル」を推進

担当：地域振興課

# 新若者発！「進化する総合計画」プロデュース事業

【令和元年度予算額 3,500千円】

## 平成30年度の実績

対話集会「新未来セッション」を初めて開催

- 「若者の声」を総合計画策定に反映
- 「県の施策・取組み」を動画で発信

参加者(高校生、大学生)の声

- ・ 徳島を知る、考える機会になる！
- ・ これからも継続してほしい！

## さらなる進化へ

- ◆ 総合計画の見直し等、「若者意見」を県政に反映するスキームとして確立
- ◆ 「県政の最新情報」をダイレクトに伝達

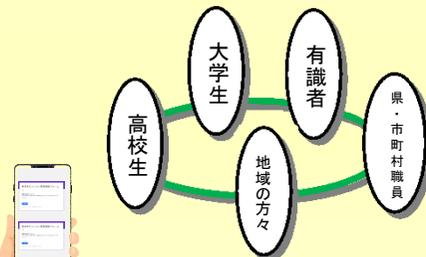
## ▶ 「新未来セッション・NEO(仮称)」の実施！

- ・ 県内の高校生等に、最新の県政の取組紹介するとともに、第一線で活躍する若手有識者と率直に意見を交わす機会を創出

※ 県内3圏域 × 県教委(学校), 南部・西部総合県民局等と連携



対話集会「新未来セッション」(H30.7)



多様なメンバーによるセッション

インターネット意見投稿システムも活用  
(会場に表示・全員が意見を共有)

- ➡ 「徳島の現在・未来」を考える契機に！
- ➡ 「若者の意見・発想」を取り入れた施策展開へ！

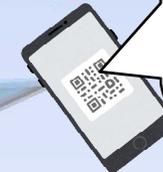
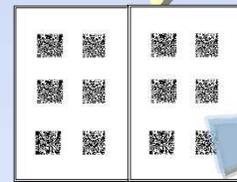
## ▶ 「新総合計画(冊子)」の情報発信機能の充実！

- ・ 「二次元コード」(QRコード)による県政動画(※)へのアクセス機能を付加

※ 県広報番組「旬感！あわだより」のYouTube動画等を活用

動画で発信！

スマホで読み取り



- ➡ 施策の成果を「より身近に実感・体感」へ！
- ➡ 徳島のことを「もっと知る・考える」ツールに！

「ふるさと・徳島」の魅力を理解し、誇りを持てる若者(ひと)を育み、地方創生をさらに加速！！

担当: 総合政策課

# 全国・世界へ！徳島「まるごと」魅力発信戦略

【令和元年度予算額 10,000千円】

2018年 訪日外国人観光客3,000万人突破、国において2030年 6,000万人を目標					⇒ 訪日外国人の増加
2019年 G20大阪サミット	2019年 ラグビー ワールドカップ	2020年 東京オリンピック・ パラリンピック	2021年 ワールドマスターズ ゲームズ2021関西	2025年 大阪・関西万博 開催決定	→東京、大阪を中心に国内外から「人」「モノ」「情報」が集積

徳島ならではの文化・食材など魅力を発信する絶好のチャンス！！

## 首都圏での取組み

## 関西圏・中京圏での取組み

### ◎(新) “まるごと徳島”体感フェス事業【東京本部】【6,000千円】

- 「“まるごと徳島”体感フェス」の開催
  - ・「観光」「文化」「食」等まるごと徳島を体感！
  - ・「移住」「創業」「ワークライフ」の魅力ある提案！

体感

#### 徳島ファンづくりを加速

- ◆徳島に興味を持っていただいている方に対し、強力に発信し「思いから行動へ」！（移住・創業・企業誘致等イベント参加者、首都圏阿波おどり関係者、県ゆかりの方、等）
- ◆東京の強みを生かし、各国大使館関係者も招待し、徳島の魅力を海外へも発信！



発信

- 「vs東京サミット」の開催
  - ・「体感フェス」との連携でリアルに徳島を発信！
  - ・次代を担う学生等を対象に「vs東京」の理念を共感！

首都圏から徳島への人やモノの流れをつくる！

### ◎徳島ファンのつどいin関西事業【大阪本部】【4,000千円】

- 官民一体となった徳島Fan交流イベント「まるごと徳島Day」を進化
  - ・関西阿波おどり協会や県人会と連携した舞台パフォーマンス及び市町村、とくしまマルシェによる特産品・観光PR
  - ・徳島を応援する企業（企業版ふるさと納税）の拡大(H29:6社 ⇒ :H30:16社)

#### 徳島ファンづくりを加速

- ◆関西で活躍する本県ゆかりの若者世代PTによる、交流参加型のイベント企画やSNSでの情報発信！
- ◆関西国際空港やミナミにおいてインバウンドをターゲットにした発信戦略を展開！



### ◎中京圏における本県の魅力体感【名古屋事務所】

- 若年層など幅広い世代への情報発信の展開
  - ・大規模複合商業施設、大学と連携「阿波ふうど」「阿波おどり」を核に、徳島の魅力を発信！

2027年リニア中央新幹線開業を見据えて

関西(2025年)・中京(2027年)のエポックメイクを活かした「徳島ファン」の裾野拡大！

## 体感・実感

拠点の「強み」を活かし、国内外へ徳島ブランドを強力に発信！！

担当：東京本部・関西本部

# (新) とくしま産学官連携プラットフォーム形成推進事業

【令和元年度予算額 16,800千円】  
【うち当初予算計上 5,750千円】

## 県内高等教育機関の現状・課題

- ・18歳人口の減少による**入学者の減少**  
(2017年2,769人 → 2040年1,997人 (▲27.9%))
- ・県内大学等を卒業した学生の**県内定着率の減少**  
(2014年卒44.7% → 2017年卒40.8%)
- ・大学に対する**地域貢献への期待の高まり**

- ・魅力発信による**自県進学率の向上**や社会人、留学生などの**多様な学生の確保**
- ・県内定着率向上に繋がる取組みの**更なる充実**
- ・個々の大学等の取組みを**産学官が連携した取組みへと進化**  
※産学官が連携し、県内高等教育の充実・発展や地域の課題解決・活性化などを図るため「プラットフォーム」を形成し包括連携協定を締結(H30.8.10)

## 県内すべての高等教育機関と地域(産業界、行政)が連携して実施

### 1. 自県進学率の更なる向上

【1,250千円】

#### 県内高等教育機関の魅力発信

- キャンパスリポーター事業  
⇒ 大学等のニュースや話題を**学生目線で発信**
- サマーセミナーやオープンスクールの情報を**共同で発信**



#### 中・高校生リカレント教育

- サマーセミナー等の開催  
⇒ 大学等の教員が**専門分野の模擬講義を実施**

### 2. 留学生受入れ・県内定着の促進

【5,750千円】

#### 外国人留学生の受入れ拡大

- 県内大学等の「日本留学フェア」での発信強化
- 留学生向けオープンキャンパスの開催

#### 留学生共同サポートセンターの設置

- 入学から就職まで**一体的な支援体制を構築**
  - ・住宅確保(住宅供給公社と連携)
  - ・留学中の生活支援
  - ・卒業後の県内就職支援



### 3. 大学生の県内定着促進

【5,000千円】

#### 実践力養成型インターンシップの拡大

- 企業の課題解決をテーマとした**インターンシップをすべての県内大学等へ拡大**
- 産業界と連携し受入企業の**すそ野を拡大**



#### 多種多様なインターンシップの推進

- プログラム開発、製品デザインなどの**合宿型インターンシップ等の開発・実施の支援**

### 4. 地域貢献活動の推進

【4,800千円】

#### 学生災害ネットワークの構築

- ボランティアパスポート制度を活用し、**共同履修プログラムを構築**  
⇒ 災害対応と日常の地域福祉や社会支援との連続性等を学ぶとともに**被災地での支援活動**を通じ、今後の**災害に備える人材育成**に繋げる

#### 大学・地域連携課題解決フィールドワークの充実

- 大学の知的・人的資源を活用した**地域の課題解決・活性化**  
⇒ 複数の大学等が共同で提案する課題解決・活性化策について、効果が高い事業を支援



「とくしま産学官連携プラットフォーム」を活用し、人材育成と地域の活性化を促進

担当：県立総合大学校本部

# 新 未知への挑戦！「とくしま回帰」交付金

【令和元年度予算額 39,000千円】

■事業の目的 現・総合戦略の総仕上げに向け、本県の未知なる“可能性”を拓くべく、“とくしま回帰”を加速する“徳島ならではの地方創生モデル”を支援・発信！

## 集落の再生・活性化により、持続可能な地域づくりに挑戦！

### 新「新たな拠点」形成支援事業

【1,000千円】

#### 地域の「意欲的な取組み」を支援

- ・「新たな拠点」形成に取り組む地域運営組織に対し、**人材育成・確保、地元事業者との連携活動**を支援！

- 地域住民、NPO、民間企業等に対する取組説明・報告会開催により連携活動を促進



地域運営組織による取組説明

【対象】「新たな拠点」形成に取り組む地域運営組織  
 【交付率】1/2以内(上限500千円)

「新たな拠点」形成の取組みを推進!!

### 集落再生「とくしまモデル」実行支援事業

【11,000千円】

#### 民間の「モデル創出・実践」を支援

- ・集落再生に向けた取組みを支援！

- 地域資源の活用
- 特産物の6次産業化など

- ・とくしま創生アワードのスタートアップを支援！
- 優秀な事業の具現化促進



にし阿波の魅力を感じていただけるツアーの商品化

【対象】民間事業者  
 【交付率】1/2以内(特に優れた提案は10/10、アワードは2/3以内、上限2,000千円)

新たな集落再生モデルの創出を推進!!

## 課題解決の先進地域づくりに挑戦！

### 徳島版地方創生特区「進化」事業

【20,000千円】

#### 市町村の「創意工夫」をパッケージ支援

- ・「規制緩和」「財政支援」「コンシェルジュ」のパッケージ支援を実施



【対象】市町村  
 【交付率】2/3(上限5,000千円、特に優れた事業は6,666千円)

全国のモデルとなる地域課題の解決を推進!!

## 新政策ツールの活用により、世界を魅了する地域づくりに挑戦！

### 新 課題解決ドローン実証実験事業

【2,000千円】

#### ドローン活用で「地域課題の解決」を支援

- ・国の規制緩和に呼応した「目視外飛行」で貨物輸送の実用化へ！



【対象】ドローン関係事業者、研究機関等  
 【交付率】10/10(上限1,000千円)

ドローン活用の徳島モデルの創造を推進!!

### 新 イベント体感！「コンセプト泊」推進事業

【2,000千円】

#### イベントと連携した「特別なおもてなし」を支援

- ・イベントと宿泊施設が連携した「特別なおもてなし」で、観光需要の掘り起こしと地域活性化へ！



【対象】イベント主催者・市町村  
 【交付率】2/3(上限1,000千円)

徳島滞在の魅力向上を推進!!

### サテライトオフィスつながる交付金事業

【2,000千円】

#### SO企業による「地域貢献活動」を支援

- ・so企業の持つ技術やネットワークを地域課題解決に！



完熟すだちを活用した商品開発

【対象】サテライトオフィス進出企業  
 【交付率】10/10(上限500千円)

SO企業と地域を繋ぎ定着を推進!!

# 叡智を結集し、未知の世界を照らす“地方創生モデル”を創造！

担当：市町村課、地方創生推進課、地域振興課

-97-

# ① 未知の世界に挑戦する総合戦略策定費

【令和元年度予算額 2,000千円】

## 「現状・課題」

### 人口減少の加速

○H27国勢調査で、調査開始以来、初めて、我が国の総人口が減少  
○H28年に、年間出生数も初の100万人割れ

### 東京一極集中の加速

○H30の東京圏への転入超過（約14万人）は、対前年比約1万4千人増  
23年連続となり、地方創生に取り組む前（H26）から約2万4千人増

## 「今後の方向性」

○第1期「総合戦略」の「取組成果や課題」を検証

○「地方創生」の実現に向け、「若者の視点」を積極的に活用

○県を挙げて「新たな総合戦略」の策定を推進

## 切れ目のない「地方創生」の推進に向けて！

### 次期5か年を見据えた「第2期 総合戦略」の策定

国「総合戦略(2018改訂版)」において、次期の総合戦略策定の準備を進めることを明記

国  
「第2期総合戦略」策定  
(2020～2024年度)

踏まえ

地方版  
「第2期総合戦略」策定  
(2020～2024年度)



### 若者から「新たな視点・発想」による意見聴取

#### ◆次代を担う高校生・大学生

#### 「新未来セッション・ネオ（仮称）」

① 若者発！「進化する総合計画」プロデュース事業（再掲）

⇒県内の高校生、大学生を対象に、  
第一線で活躍する若手有識者と  
「意見を交わす機会」を創出



活用！

#### ◆県外進学的大学生

⇒就職支援協定等を締結している県外大学において、  
「将来の夢・希望」に関する「アンケート調査」を実施

#### ◆若手有識者

⇒県内で活躍する若手有識者を中心に、  
「徳島の未来像」等について、「提案・意見」等を聴取

#### ◆県外からの若手移住者

⇒移住者や二地域居住者（テレワーク企業関係者）  
など「外からの視点」での「提案・意見」等をヒアリング



### 「産学官・金労言」各界からの意見聴取

#### ◆地方創生“拳県一致”協議会

⇒「産学官・金労言」の「各界からの意見聴取」  
地方創生の実現に向けた「拳県一致」による  
取組みの推進



#### ◆「新たな総合戦略」研究会 新設

⇒第1期「総合戦略」の成果・課題の検証と  
「新たな総合戦略」の方向性の検討

#### ◆県政運営評価戦略会議

⇒「外部委員の提言」に重きを置いた  
「未来志向型の政策評価」

「地方創生」の成果加速！

「一億総活躍社会」の実現へ！

# 東京オリパラを見据えた「vs東京」実践プロジェクトの加速

【令和元年度予算額 39,000千円】

## 新 Road to 2020！「vs東京」実践加速事業 【39,000千円】

### 「徳島国際映画祭2020」の開催！ 【31,000千円】

#### 徳島国際映画祭開催事業

徳島から映像文化を発信  
映像の聖地へ！

#### ◆映画をつくるための「映画祭」の更なる進化

映画祭に合わせて、自然・文化・暮らしなど  
徳島ならではの魅力満載の短編映画を制作

#### ◆上映作品への参加、ワークショップを 通じた映像人材育成を更に加速



#### 「vs東京」映像発信+（プラス）事業 <企業版ふるさと納税事業>

「映画をつくるための映画祭」として、「音楽」「デザイン」「舞台」・・・  
「映像」を取り巻く様々な「テーマ」にスポットを当てて、  
徳島ならではの映画祭を実現！



### 徳島ならではの「おもてなし」で魅力体感・発信！ 【2,500千円】 (再掲 2,000千円)

#### イベントと連携した「コンセプト泊」の実装

#### ◆コンセプト泊実装に向けた助成制度の創設！

地域のイベントと宿泊施設が連携し、「特別なおもてなし」を  
提供する「コンセプト泊」を実施する事業に対して助成

<コンセプト泊>

イベントと連携した「特別なおもてなし」を提供することによりイベントを  
体感できる宿泊

挑戦する地域を  
重点的に支援！



#### 外国人にやさしい民泊の推進

#### ◆外国人受入れ体制の強化

東京オリ・パラ、四国遍路など、インバウンド需要拡大を見据え、  
外国人に対する発災時の対応やおもてなし等の  
実践的なセミナーを開催

民泊新法宿泊者の  
約半数が外国人！



## 新 “まるごと徳島”体感フェス事業(再掲) 【6,000千円】

### 首都圏の徳島ファンに働きかけ、徳島への人やモノの流れを加速！

#### ◆「“まるごと徳島”体感フェス(仮称)」の開催

「観光」「文化」「食」等まるごと徳島を発信！  
「移住」「創業」「ワークライフ」の魅力ある  
提案により、首都圏から徳島への人やモノの  
流れをつくる。



#### ◆「『vs東京』サミット」の開催

「体感フェス」との連携でリアルに徳島を発信！  
学生等へ「vs東京」を発信し若者の共感を獲得！



### 「vs東京」コンセプトに基づく徳島の魅力発信！ 【5,500千円】

#### ◆「首都圏」をターゲットにした徳島の魅力発信を強化

2020年の東京オリ・パラを控え、高い波及効果が  
見込まれる首都圏で、東京にはない「魅力」や「価値」の発信を  
ターゲットを絞り戦略的に展開

県庁各部署・民間との  
連携で相乗効果！



### ドローンによる地域課題解決！ (再掲 2,000千円)

#### ◆ドローン実証実験の更なる展開！

2020年代での本格実施を目指す国の動きを捉え、  
目視外飛行による荷物輸送の実用化に向けた  
実証実験を促進



# 「vs東京」の更なる実践！魅力あふれる徳島を戦略的に発信！

担当：地方創生推進課、東京本部

# SDGs最前線！イノベーション創出

【令和元年度予算額 20,500千円】  
（うち当初予算計上 14,800千円）

## とくしまサテライトオフィスプロジェクト

全国をリードする三本柱の「**新次元展開**」

国際展開への  
挑戦  
～海外企業の  
SO誘致～

拠点化の推進  
～SOの定着・  
本社機能移転～

国の実証実験の  
更なる誘致  
～中央省庁のSO誘致～

プロジェクト開始から7年、  
県内**13市町村**に**65社**が開設  
(H31.4末現在)

取り巻く環境の変化

SOの全国的な拡がり

働き方改革の進展

2020年の5G開始

「**働き方の多様化**」が加速

企業へのアプローチに加え  
国内外の  
“**テレワーカー**”から  
選ばれる場所になれるかが「**鍵**」

## 未来を創造！徳島発ソーシャルイノベーションの創出

### 多様な人材の集積・循環によるサスティナブルな地域づくり

### ビジネスや新規事業展開を生み出す「徳島の強み」



SO誘致で培った受け入れ体制

豊富な地方創生先進事例

地域やSOとの業種を超えた協働

### 「ワーキング」コミュニティ・プラットフォーム開設

○県内 coworking space を核とした  
ビジネスコミュニティ創出の  
ための勉強会や情報交換会実施  
によるネットワーク拡大

全国トップレベルの設置数を誇る  
公共関与型 coworking space



### SDGs×シェアEco×テレワーク

○企業の人材育成と  
一体化した  
SDGsラーニング  
ツーリズムの実施

エシカル消費、ゼロウェイスト等  
SDGs取組事例が多く存在



日本のSDGsモデルを  
世界に発信！

### スタートアップ・イン・レジデンス

○イノベティブ  
人材を誘致し  
事業化に向けた  
チャレンジを  
地域でサポート

様々な知見を持つ人材が集積



## 働き方・ビジネスを変える「徳島ならではの」ワークスタイル新次元展開

### 多様なSO展開モデルを発信

「ワーケーション(work+vacation)」を  
核とした国内外への発信  
再掲 にし阿波型ワーケーション強化発信事業 7,000千円



東部 多様な人・技術・知見が集積する交流拠点化

南部 IoT企業×地域による課題解決モデルの実装  
再掲 みなみで総活躍！まち・ひと・しごと次代継事業の  
うち4,850千円

### 企業定着×地域課題解決

○SO企業による地域貢献活動を支援  
再掲 未知への挑戦！「とくしま回帰」交付金の  
うち2,000千円



廃棄する  
完熟すだちを  
商品化

## サテライトオフィス×地域のシナジー創出

## 「地方の未来の姿」を徳島が示す！

担当：地方創生推進課

# 県民が主役！社会貢献活動の更なる促進

【令和元年度予算額 2,890千円】  
（うち当初予算計上 2,080千円）

## 現状と課題

- 地域課題の多様化、複雑化への対応
  - ・人口減少や高齢化、地域コミュニティの希薄化
  - ・多発する大規模災害への対応

- 社会貢献活動の衰退の打開
  - ・高齢化、固定化による取組みの衰退
- 地方創生に向けたボランティアの加速
  - ・NPO・ボランティア活動の活性化

## 方針

- ☆地域でお互いに支え合う**共助**の浸透・定着
- ☆NPO・ボランティア活動の裾野拡大と次世代育成
- ☆地方創生の**即戦力養成**

さらに

東京オリ・パラにより全国的にボランティアへの注目度がアップ！  
三大国際スポーツ大会をはじめ、社会貢献活動参加への機運を高めるチャンス！！

新たな潮流への対応

## 新 とくしま共助支援プロジェクト

NPOやボランティアなどの社会貢献活動をサポート

## とくしま県民活動プラザ を中心とした共助社会づくり

### 県民総ボランティアの機運醸成

共助の定着

[補正]

- 新**「フォーラム」開催 国際交流 防災  
新たなニーズをとらえた社会貢献活動を展望！
- 新**「マッチングフェア」開催  
社会貢献活動を体験！共感！
- 新**「とくしまボランティアやろうデー」  
県民みんなでチャレンジ！

### 次代を担う人材育成

次世代育成  
プログラムの展開

[当初]

- 社会貢献活動の「**出前授業**」全県展開  
学校現場で活動を体感！伝授！ 消費者教育
- 若年層向けの「**実践講座**」の開催  
国際交流・スポーツ分野での実践活動！  
NPO設立・運営に向けた実務研修！ 防災 伝統芸能

### NPO等の運営・財政基盤の強化

地方創生の  
即戦力養成

- 「**事業型NPO**」への展開をバックアップ[当初]  
(とくしまソーシャルビジネス支援ネットワーク)
- 新**「ゆめバンクとくしま助成事業」[補正]  
クラウドファンディング部門を  
新たに創設！
- 「**指定NPO法人制度**」の  
普及・啓発[当初]



# 共助社会の確立・地域課題の解決から地方創生へ！

# 新 縁（ゆかり）から絆へ！絆応援し隊事業

【令和元年度予算額 1,830千円】

## 農山漁村の現状

- 過疎・高齢化が進行し、地域住民だけでは集落活動もままならない状況
- 農山漁村ならではの景観や文化、伝統行事が国内外の観光客に人気

## 解決の方向性

- 都市（企業・大学・NPO等）と農山漁村との交流を促進するため「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」の協働活動を拡充。
  - ・ 農山漁村の伝統や維持活動を県外・国外等の人々が体験する場を作る。
  - ・ 多様な人が農山漁村にて体験したことを世界へ発信。



## 企業・大学・NPO プラス 県外と外国の人 ⇒ 「にぎわい」

### とくしまと縁ある人々やその家族

～県人会（東京、大阪等）～



- ・ 県人会のふるさと会と連携した、お試し応援し隊体験の実施
- ・ 動画を活用したPR

県外協働パートナーの獲得

### 世界中からとくしまを選んでくれた人々

～留学生や外国人労働者等～



- ・ 徳島県国際交流協会メンバー等の協働活動への参加
- ・ 新たな視点での協働活動と情報発信

外国人も「とくしまファン」へ

### とくしまに興味がある人々

～IJUターン希望者～



- ・ 移住支援センター等での参加説明会の実施
- ・ メルマガ「とくしまで住み隊」で、会員への情報発信

体験を契機とした移住交流の促進

地域との「絆」深化、  
農山漁村を応援する「とくしまファン」の増加で、  
にぎわいを創出！

## 活気あふれる農山漁村へ！！

担 当：農山漁村振興課



# みなみで総活躍！まち・ひと・しごと次代承継事業

【令和元年度予算額 13,000千円】  
 (うち当初予算計上 11,100千円)

## 現状と課題

**現状**

- 地域課題をチャンスと捉える企業の集積

南部SO関連企業数 (社)

年度	企業数
H28	19
H29	24
H30	26

- 移住者の順調な増

南部移住者数(県外) (人)

年度	人数
H27	205
H28	242
H29	380

**課題**

- 地域を支える担い手不足

- ◆ 移住・定住への第一歩となる“徳島ファン”の拡大
- ◆ 企業の副業解禁を契機に、専門人材を地域に呼び込む仕組みづくり
- ◆ AI時代 (Society5.0) に向け新しいビジネス創出等への支援

圏域1市4町と県が一体となった事業推進が必要

【推進体制再編・強化】「四国の右下」若者創生協議会

## 令和元年度の取組

「徳島ファン」やましまち・ひと・しごとを次代につなぐ地域づくり

### 1 大学生×地域社会による“地方創生の輪”の実装

- ① 大学生と地域の“密な”連携・協働によるフィールドワークの深化
- ・ 県内外の大学生が、“徳島ファン”となり、継続的に地域に貢献、魅力を発信する仕組みづくり



### 2 地域ニーズに基づく人材誘致・育成による移住・定住の深化

- ① 「なりわい・つなぐコーデイター(仮称)」による人材誘致
- ・ 地域における事業承継等ニーズの掘り起こし 【6月補正】
  - ・ 首都圏等でのマッチングイベント等での人材誘致
  - ・ 県事業承継ネットワークと連携したフォローアップ
- ② 「ローカルハンチャー育成プログラム」による人材育成
- ・ 地域おこし協力隊等の定着促進のための起業塾の開催
- ③ 「四国の右下移住ナビ・SNS」を活用した“ゆかりの徳島”発信強化
- ・ 「#(ハッシュタグ) 四国の右下」で移住情報を拡散する「まけまけ情報発信」
  - ・ 「空き家」や「しごと」などの情報を発信



### 3 集積を活かした「南部圏域ならではの」SO誘致を加速

- ① 映画「波乗りオフィスへようこそ」を活用したPR強化
- ・ 首都圏等でのSO誘致イベント開催
- ② 「四国の右下・右上がり研究会」の開催
- ・ SO企業を中心に、地域の多様な主体が参画し、新たなIoT関連ビジネスの実装を支援、フォーラムを開催
- ③ 集積するSO企業による地域ICT教室の普及・促進
- ・ プログラミング教室(小学生対象)等AI時代に向けた人材育成
  - ・ コワーキングスペースの活用促進



担当： 地域創生部

「ひと」と「しごと」が好循環する持続可能な「まち」の実現

# ユネスコ「世界の記憶」チャレンジプロジェクト

## 板東の記憶を世界の記憶へ！

- ・第九コンサートプログラム 約830点
- ・演劇、スポーツ大会プログラム
- ・収容所内新聞「ディ・バラック」
- ・絵はがき、写真、書画、工芸品 など

松江所長らの博愛精神により  
生まれた国際交流の貴重な記録

板東俘虜収容所  
関係資料とは



第九プログラム

収容所内新聞  
ディ・バラック

2017年5月、県・鳴門市・ニーダーザクセン州・リュネブルク市が  
4者国際共同申請協定書に調印



調印の様子

2018年の「第九」100周年を機に  
ドイツ兵の子孫から新たな資料が寄贈されるなど、  
徳島ードイツの交流が一層活性化！

平成30年度 県外・海外へPRする絶好の機会

動画、パンフ等広報資材の多言語化！

県外施設を利用した展覧会を開催！

出張授業・遺跡巡りウォーキングの実施



ユネスコ「世界の記憶」  
申請・登録を目指して！

「板東の記憶」を「世界の記憶」(Memory of the World)へ！

【令和元年度予算額 8,500千円】  
(うち当初予算計上 3,300千円)

令和元年度 登録推進の機運をさらに拡大！

国内外へのPR活動をさらに強化！

日独プロジェクト  
チーム事業

◆世界へ発信！「板東の記憶」魅力発信事業

新 京都ICOM2019への出展 2019年 9月 [当初]

日本で初めて開かれる国際博物館会議  
(ICOM2019)に参加、国際的にアピール

新 日独協力による展覧会の開催 2020年 1月 [補正]

ドイツで開催した展覧会『鉄条網の後での出会い』の  
展示物を交え、日独共催の展示を県内外で開催

バンドーの奇跡を知り、学ぶ！

H30.10.15  
国史跡指定

◆知ろう！学ぼう！「板東俘虜収容所」[当初]

- ・「板東俘虜収容所関係資料」について学ぶ出張授業
- ・「板東俘虜収容所」遺跡めぐりバスツアー&ウォーキング

「世界の記憶」申請に向けて！

◆ユネスコ「世界の記憶」登録申請事業 [当初]

2018年10月ユネスコ世界の記憶制度改革に向けた  
アクションプランの承認 → 制度改革がスタート

2020年と見込まれる申請受付開始に向けて、  
申請書を準備。2021年の登録を目指す！

担当：文化資源活用課

# 「あわ文化」のレガシー創出と未来への挑戦

【令和元年度予算額 139,979千円】  
 (うち当初予算計上 112,979千円)

2019年 ラグビーWC

2020年 東京オリ・パラ

2021年 WMG関西

2025年 大阪関西万博

- 「3大国際スポーツ大会」の開催さらに大阪関西万博を絶好の機会と捉え「あわ文化」の魅力国内外に強力に発信
- 地域の魅力の向上を図り「インバウンド」の拡大をはじめとして「地方創生」を実現
- 「eスポーツの聖地・徳島」の実現に向けた取組みを推進

みんなで築く  
「あわ文化」

根付き、育てる  
「人材・才能」

文化の力で  
「まちづくり」

文化と経済との  
「好循環」

「あわ文化」ブランドの  
創出・発信

徳島版「カルチュラル  
オリンピック」を展開！

## あわ文化魅力向上事業

【令和元年度予算額 89,979千円】  
 (うち当初予算計上 62,979千円)

### 新 あわ文化未来魅力発信事業 [当初]

- ・阿波藍の伝統を核に広がる豊かな「藍文化」の魅力発信する展示会を開催



### 新 阿波伝統文化体感事業 [補正]

- ・阿波人形浄瑠璃の人形遣いや、邦楽の和楽器演奏などを先端技術で体験する「ワークショップ」を開催



### ◆県民文化祭開催事業 [補正]

- ・メイン公演として、阿波人形浄瑠璃(義太夫節)や阿波おどり(鳴り物)を含む多彩な邦楽を取り入れた舞台を創作



### 新 「あわ三大音楽」継承・発展事業 [当初]

- ・「あわ三大音楽」が一堂に集まる「夏の音楽祭」を開催
- ・クラシック等の活性化へ県出身音楽家を迎えオーケストラキャンプを開催
- ・はぐくみコンサートを全県展開



### ◆ジャズが流れる街・徳島推進事業 [当初]

- ・地域の商工団体等と連携して「街角ジャズイベント」を実施
- ・県民に演奏発表の機会を提供する「ワークショップ」を開催



### 新 「eスポーツ」未来創造事業 [補正]

- ・全国規模の「eスポーツ」競技大会や交流会の開催に向けた機運の醸成
- ・徳島県から国体常連選手を創出



## あわ文化創造事業

【令和元年度予算額 50,000千円】  
 (うち当初予算計上 50,000千円)

### 新 あわ文化交流促進事業

- 「人形座」の国内外への派遣等を通じ交流を促進



### ◆あわ文化創造支援費補助金

- ・障がい者芸術に光を当てた新たな才能の発掘
- ・地域で受け継がれる文化資源の再生と活用
- ・「第九・百周年」の成果の継承・発展など地域の魅力に磨きをかける県民の文化活動を支援



### ◆あわ文化可能性創造事業

- アドバイザー派遣により文化団体等の可能性を創出

### ◆あわ文化巡回展実施事業

- 地域資源等を掘り起こし組立て式の移動ギャラリーで県内を巡回展示

「東京オリ・パラ徳島未来創造基金」を活用

当初

県民主役の「あわ文化」を創造し、文化と経済の好循環を実現！

担当: 県民文化課

# 中学生・高校生の「文化芸術力」創造・発信プロジェクト

【令和元年度予算額 35,642千円】  
【うち当初予算計上 20,402千円】

## 羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業

【令和元年度予算額 4,353千円】  
【うち当初予算計上 3,313千円】

### 中学生「あわっ子文化大使」活躍事業

- H25年度より新たな「あわっ子文化大使」を毎年30人程度認定
- 検定受検者数はH30年度1,044名  
→さらなる拡大へ！

H30に200名突破



- **新** H30ツアー参加者の意見を反映させた「あわ文化体験ツアー」の企画・実施、ツアーの様子を映像で世界へ情報発信

中学生の企画による  
体験ツアーの決定版！

### Beyond the「あわっ子文化大使」事業

- **新** 「あわっ子文化大使」と「高校生サポーター」、「大学生・社会人サポーター」が一堂に集まるシンポジウムの開催！

6月補正

高校生サポーター  
は60名以上に



### 県中文連 創立「5周年」記念事業

- **新** 活動の活性化と生徒の発表機会充実のため文化の森「中学生 野外フェスティバル」や芸術家を招いた「ワークショップ」を開催！

6月補正



## 輝け高校生！文化芸術創造・発信事業

【令和元年度予算額 31,289千円】  
【うち当初予算計上 17,089千円】

### 本県高校生の文化力を全国に発信

レガシーの継承

#### 全国高総文祭 佐賀大会に高校生を派遣

- 全国高総文祭佐賀大会へ生徒を派遣
- 県高文連の活動を支援！



#### 近畿高総文祭 京都大会へ高校生を派遣

- 徳島から京都へ！近畿高総文祭京都大会へ生徒を派遣
- 徳島の高校生の「文化芸術力」を強力に発信！

6月補正



徳島大会の成果を  
レガシーとして拡充・発展！

### 文化芸術リーディングハイスクール

文化芸術 拠点校の  
更なる進化へ！

- 本県在住・ゆかりの音楽家によるスキルアップ・コンサート共演

#### 新 芸術サポーター制度(音楽・美術・書道)を創設

名西高生が中学生を指導、お互いの技術力を向上

6月補正



### あわ文化の継承・後継者育成

- 阿波人形浄瑠璃の後継者育成を支援
- 「ジュニア浄瑠璃フェスティバル」の開催



若人による「あわ文化」の継承と新たな創造を推進

担当: グローバル・文化教育課

# 新 日本最古級恐竜化石含有層 調査・発信プロジェクト

【令和元年度予算額 19,100千円】（うち当初予算計上 4,700千円）

## 現状

・ H30年冬、勝浦町において国内最古級恐竜化石含有層の「緊急発掘調査」を実施 <※手作業による調査>

<恐竜化石をはじめ47点の脊椎動物化石を発見>

中四国初の獣脚類恐竜の脛骨  
県内5点目となる竜脚類恐竜の歯などの恐竜化石を発見！

◆さらなる恐竜化石への期待と関心の高まり

## 令和元年度の取組み

### 事前調査

- 本格的な発掘調査も視野に「周辺環境調査」
- 「発掘調査」→「化石クリーニング」→「鑑定・分析」→「成果発表」のサイクルにより『成果を蓄積』



緊急発掘調査の様子

当初

- 恐竜発掘活性化協議会を開催し『地域の知恵』を集約
- クラウドファンディングの仕組みも活用し『効果的に情報発信』



企画展等での化石の公開・恐竜PRツールの作成と活用

### 魅力発信

### 本格発掘調査

- 大型機械も導入し『本格的な発掘調査』に着手



計画的発掘推進



福井県の例

補正

- 地元勝浦町と連携し、恐竜に関するシンポジウムや移動展を開催



シンポジウムの開催

### さらなる魅力発信

## 効果

- ・希少な学術事例として日本における「恐竜」の全貌解明に寄与
- ・県立博物館「新常設展」の目玉展示の一つとして有効に活用
- ・勝浦町はもとより徳島県全域の地方創生、地域活性化にも貢献

「恐竜王国トクシマ」の実現！



担当：文化の森振興本部

# 世界とつながる 3大国際スポーツ大会・キックオフ プロジェクト

【令和元年度予算額 455,000千円】  
（うち当初予算計上 419,460千円）

## 新 ラグビーワールドカップジョージア代表 事前チームキャンプ受入事業 [当初]

ラグビー強豪国   
ジョージア

◇5大会連続 本大会出場！  
◇2018欧州インターナショナル  
チャンピオンシップ優勝！



2019年9月8日-16日 鳴門・大塚スポーツパーク球技場  
ジョージア代表事前チームキャンプを実施！



- キャンプ受入態勢整備
- 県民との交流イベント
- 機運醸成イベント など



## 新 東京オリンピックキャンプ地誘致等推進事業 [当初]



世界トップアスリートとの交流  
H30.6ドイツハンドボール男子代表 (世界ランク1位)

- 海外代表チームキャンプ受入れ
- ドイツNDS州とのスポーツ交流 など

本県のホストタウン対象国  
 H28.1 ドイツ 第一次登録  
 H29.12 カンボジア 第五次登録

### 聖火リレーに向けた準備を推進！

徳島県聖火リレー実施日  
大阪府 ▶ 2020年4月16日-17日 ▶ 香川県

## ワールドマスターズゲームズ2021関西 開催準備事業 [当初・補正]



H30年度調査  
海外モニター選手等から客観的視点で大会開催に向けた諸課題等を把握

### 各競技・各機能の内容を具体化！

- 実施計画・マニュアルの作成 [補正]
- 競技・受入態勢の整備 [当初・補正] など

### 国内外における広報活動を実施！

- 海外マスターズスポーツ大会 [当初・補正]
- 国内スポーツ大会 [当初] など

徳島県:12競技種目実施 

東京オリンピック・パラリンピック  
徳島未来創造基金積立金  
【当初予算額 500,725千円】  
3年連続の国際スポーツ大会を契機に、  
スポーツ・文化の振興を加速！！

柔軟かつ機動的な  
事業展開  
数年先を見据えた  
事業展開

- キャンプ地の誘致実現・受入態勢の整備
- 徳島からの日本代表選手の輩出
- 国体順位向上に向けた競技力の向上
- 障がい者スポーツの振興
- あわ文化の魅力を発信
- 県民の文化活動を支援



担当:スポーツ振興課・国際スポーツ交流室

# 「自転車王国とくしま」魅力発信プロジェクト

【令和元年度予算額 17,000千円】  
（うち当初予算計上 13,250千円）



- 10周年を迎える「自転車王国とくしま」を**ブラッシュアップ**！
- **新たなコンテンツ**で**情報発信強化**！
- 徳島の魅力を**国内外に積極的にアピール**！
- 県内ライドイベントでの**サイクルトレイン実装**！

3大国際大会を見据えた  
誘客促進・認知度アップ

「自転車王国とくしま」10周年  
さらなる魅力アップへ！

**新「自転車王国とくしま10周年」魅力再発見事業 3,750千円【補正】**

**サイクルトレインの運行【補正】**

ライドイベントで運行参加者の**利便性アップ**！

実証実験(当初) ツール・ド・にし阿波

四国の右下ロードライド

ひわさうみがめトライアスロン

WMGに向けて

**「自転車でひろがる人・まち」づくりプロジェクト 13,250千円【当初】**

**サイクリングアプリ作製【当初】**

観光アプリを活用

- ・スポット検索
- ・ナビゲーション
- ・コース自動作成

快適なサイクリングをサポート

**アプリ機能充実**

新たに**自転車の観光**を提案！

立ち寄りスポット等**サイクリスト向け情報**の充実！

**Go aroundコースMAPの多言語化【補正】**

「自転車王国とくしま」**海外展開へ！**

ENGLISH 中文簡体字 中文繁体字

**TOKUSHIMAサイクルワールド(仮称)の開催【補正】**

子供向けイベント

自転車の魅力を発信 **サイクリストの拡大**！

ロードバイク等展示・試乗

ゲストとのライド

**新たなサイクルツーリズムの創出**

**コンテンツ作製・PR【当初】**

- Go aroundコースPRムービー作製
- 自転車王国とくしまスマホ対応HP構築
- Go aroundコースモニターツアーの実施

サイクルイベント等国内におけるPR

台湾・香港等国外へPR

**インフルエンサーによる魅力拡散**

**自転車王国とくしまビルドアップ事業【当初】**

新たな「王国ファン」の**拡大**に向けて！

+ アクティビティ

「魅力再発見」観光サイクリングを推進

+ ぐるめ

サイクリング + XX

四国サイクリングのブランド化

受入環境の整備

**サイクリングアイランド四国の推進**

おもてなし態勢の整備

シェア・ザ・ロードの啓発

**連携**

担当：スポーツ振興課

# 新 徳島から発信！安全・安心な食農レガシーの創造

三大国際スポーツ大会の開催を産地づくりのターニングポイントと位置付け、次世代につながる「安全安心なフードレガシー」の創出!!

【令和元年度予算額 18,400千円】  
（うち当初予算計上 11,020千円）

## 三大国際スポーツ大会の開催

- ラグビーワールドカップ2019日本大会
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
- ワールドマスターズゲームズ2021関西

## 来県する外国人の急増

- 外国人スポーツ選手団の来県
- 海外観光客の来県



◎県産農畜水産物を世界にPRする絶好の機会！

課題

魅力ある県産品の認知度向上

## 農業者の高齢化

- 病虫害防除、収穫作業等の負担の大きな農作業において労働力の不足
- 農作業事故のリスク増大

◎農業者自らによる労務管理が重要！

課題

安全安心な農作物の生産基盤強化

## 新 徳島発！フードレガシー創造事業 15,400千円

### I 国際水準GAP認証取得を加速！「ステップアップフォーラム(仮称)」の開催(補正)

◎オリパラ後を見据え、安<sup>2</sup>GAPから国際水準GAPへのステップアップ推進

- フォーラムを核にシリーズ研修会を開催
- ステップアップチャレンジ啓発ツールの開発、普及による取得支援

➡ 世界に通用する産地の育成



### II 魅力発信！公式オリパラ関連イベント等への県産食材提供

◎安全安心で高品質な県産食材を調理例とともに紹介

- オリパラのステーキホルダーや大手小売等を対象に、「おもてなし食材披露会」を開催

➡ 国内に向けた情報発信



### III 食文化を共有！ホストタウン対象国メニューの開発(補正)

◎事前キャンプ対象国の食文化を取り入れたメニューによる「おもてなし」を実施

- 来県する外国人スポーツ選手団の歓迎レセプションやスポーツ大会におけるオリパラ対応食材の供給、PR

➡ スポーツと食を通じた外国人徳島ファンの増加



エンカル農産物をフードレガシーに

## 新 安全安心スマート農業推進事業 3,000千円 (補正)

### I 新型農業機械活用による省力化

- 省力化につながる農業用機械の実演展示、技術講習会の開催
- ドローンによる農薬散布の安全性確保

➡ 最新技術の定着

### II 農作業安全の推進

- 農作業チェックノート等啓発ツールの開発
- ヒヤリ・ハット事例調査の実施
- 農作業事故撲滅講習会等の開催

➡ 農業者自らによるリスクマネジメントの推進



安全な農業の実現

世界の消費者から求められる「ポスト東京2020」への産地対応力強化

担当：もうかるブランド推進課

# 障がい者の能力と個性を発揮するスポーツ施策の展開

【令和元年度予算額 21,000千円】  
【うち当初予算計上 13,925千円】

## これまでの取組み

- ◆障がい者スポーツ協会と連携した障がい者スポーツ振興の促進
- ◆スポーツ大会や障がい者スポーツ体験イベントの開催

## 課題

- ◆東京パラリンピックの次の世代を担うアスリートの育成
- ◆スポーツを通じた障がいのある人とない人の交流の促進

障がい者スポーツの  
更なる飛躍！

**障がいのある人が身近な場所でスポーツに取り組める環境づくりの推進！**

## 障がい者スポーツ振興事業〈当初〉

- 国際競技大会で活躍が期待できる選手及び団体へ競技力向上に関する経費を助成
- 障がい者スポーツ協会の実施事業の支援や、障がい特性に応じた運動プログラムの作成

**障がい者スポーツ活性化に向けた取組み強化！**

## 新 次世代パラアスリート発掘・育成事業〈6月補正〉

### トップアスリート・スクーリング開催事業

- 障がい者スポーツに取り組む障がい者(児)を対象に、競技別指導者による実技指導を授業形式(スクーリング)で実施

- ・競技力の向上
- ・次世代パラアスリートを育成

世界で活躍する  
パラアスリートの  
輩出！



### パラアスリートの卵発掘！ジュニア・アカデミー事業

- 特別支援学校や小・中学校と連携し、障がい児を対象に、スポーツの「楽しさ」の体感と基本的運動能力を育てるスポーツ教室を開催

- ・卒業後も見据えたスポーツへの参加意欲向上
- ・次世代パラアスリートを発掘



## 新 障がい者スポーツ交流支援事業〈6月補正〉

### 障がい者スポーツ指導者育成支援事業

- 指導者・審判員資格取得のための養成講座を開催

### アーチェリー合同強化練習会・交流記録会

- 徳島科学技術高校の新アーチェリー場を活用し、障がい者と高校生の交流戦を開催

### 障がい者トップアスリートによる実技講習会 eスポーツの体験・交流会 等

- ・障がい者スポーツ指導者・審判員の増
- ・アーチェリーを通じた交流の促進
- ・障がい者の新たな活躍の場の創出

障がいの有無を  
超えた幅広い  
交流の促進！



**障がい者トップアスリートの活躍と障がいへの理解の促進！**

**障がい者スポーツを通じ、障がいに関係なく交流が広がる共生社会の実現へ**

担当：障がい福祉課

# 障がい者の個性を発揮する芸術文化施策の展開

【令和元年度予算額 17,000千円】  
【うち当初予算計上 4,600千円】

## これまでの取組み

### 支援の強化

障がい者の  
芸術文化  
活動を支援

### 「障がい者芸術・文化活動支援センター」開設

障がい者芸術文化活動の拠点として、  
障がい者交流プラザにH30.9.26開設



特別支援学校生と小中学生による共同制作

### 課題

障がい者  
芸術文化活動  
の更なる浸透

障がい者芸術  
文化活動を通じた  
幅広い交流の促進！

**障がいのある人が芸術文化活動に取り組み発表できる機会・場を創出！**

## チャレンジド・アート・プロジェクト推進事業 <当初>

- 相談支援 障がい者施設からの支援方法や環境整備等の相談に応じる「窓口の設置」
- 支援者の人材育成 著作権の権利擁護や作品の展示方法等の「支援者向け研修会の開催」
- ネットワークづくり 芸術、文化、福祉、教育等関係者によるネットワークの構築と情報交換会の開催
- 情報の収集・発信 展示会や公演等イベント情報の収集、発信



相談支援 支援者の人材育成 ネットワークづくり 情報の収集・発信

## 新 とくしま共生アートプロジェクト推進事業 <6月補正>

- 特別支援学校と連携し、表現活動（舞台芸術等）への取組方法を検討、  
表現活動の実践モデルの構築
- 全国障害者芸術文化祭（新潟）のサテライトイベントとして  
障がい者アーティストの卵発掘展やアール・ブリュット展の開催
- 障がい者交流プラザにおけるアート常設化の推進

- ・障がい者の芸術文化活動の機会を拡大
- ・次世代障がい者アーティストを発掘
- ・障がい者芸術文化への理解を深める場を創出



アーティストの卵発掘展



アール・ブリュット展

**障がい者アーティストの活躍と障がいへの理解の促進！**

**障がい者アートを通じ、交流が広がる共生社会の実現へ**



担当：障がい福祉課

# 新 未来型スポーツ環境創造プロジェクト

【令和元年度予算額 5,000千円】

## 現状と課題

- 少子高齢化、人口減少
- 地球温暖化[スポーツ環境の悪化]
- 大規模災害への対応



- 1 あらゆる人々がスポーツやイベントを楽しめる環境づくり
- 2 夏場のスポーツへの適応
- 3 「拠点避難所」としての機能確保
- 4 多目的に利用できる施設整備
- 5 周辺施設との相乗効果発揮



## 未来の姿

- 地方都市としての賑わい創造
- まちの活性化



## 「庁内タスクフォース」の設置

- ・職員による「タスクフォース」を設置
- ・「本県ならではの」方向性を検討



スポーツ施設を核に  
新たな価値を創造

## 先進事例等の調査・研究

- ・国内外における先進事例調査
- ・スポーツ施設等に関する最新技術動向の調査・研究



# 新次元のスポーツ環境により地域の活性化を推進！

担当:スポーツ振興課

# 競技カジャンプアッププロジェクト



- 競技者・指導者・団体の取組を積極的に支援
- 一貫指導体制のさらなる充実
- 医科学サポート体制の整備

- ◆ トップレベルの競技者・指導者を育成
- ◆ ハイパフォーマンスを引き出すサポート環境を提供

【令和元年度予算額 244,588千円】  
 (うち当初予算計上 243,088千円)

## オリンピック選手輩出・国体順位飛躍プロジェクト

(132,645千円) [当初]

- オリンピック・国体チャレンジ事業 (39,000千円)
- 競技スポーツ重点強化対策事業 (45,845千円)
- スポーツコーディネーター活用事業 (14,800千円)
- 企業・大学スポーツ支援事業 (6,000千円)
- オリンピック・国体選手育成事業 (7,000千円)
- 国体バックアップ事業 (20,000千円)



## 目指せ！オリンピック夢はぐくみ事業

(令和元年度6月補正要求額:1,500千円)

元オリンピック等の選手や指導者によるジュニア選手への指導・助言



トップアスリートへの  
夢・希望を育てる！



## 徳島育ち競技力向上プロジェクト

(20,481千円) [当初]

- (1) 一貫指導体制の構築
- (2) スポーツ指導者の養成
- (3) スポーツ拠点づくり
- (4) ジュニア選手育成

## 国民体育大会派遣事業

(63,286千円) [当初]

- 第74回国民体育大会
- 「いきいき茨城ゆめ国体」
- 等への派遣



## 新 あわスポーツ・医科学強化プロジェクト (26,676千円) [当初]

- あわハイパフォーマンスサポート事業
  - (1) リカバリー対策等の最新医科学情報提供
  - (2) スポーツ医科学体制整備検討委員会(仮称)を設置



- あわ女アスリート医科学サポートアシスト事業
 

成長期的女子選手への実態調査・サポート体制構築

## 日独女性スポーツリーダーサミットの開催

ドイツNDS州と連携した人材育成



# 国体天皇杯30位台の実現

担当:スポーツ振興課

# 新 ときめく！ふるさとのレガシー活用・再発見事業

【令和元年度予算額 22,900千円】  
（うち当初予算計上 13,600千円）

**文化庁** 文化財保護法の改正（H31.4施行）⇒文化財の保存と活用を総合的に推進！  
**県** 本県文化財「保存・活用」のビジョン⇒文化財保存活用大綱の策定！

## 大綱策定・文化財保存活用モデル事業

- 新** (1) 「徳島県文化財保存活用大綱」策定事業 [補正]
  - 文化財保存・活用の指針となる「大綱」を令和元年度に策定
  - 策定委員会を設置、文化財保護審議会と連携

- 新** (2) 阿波のまちづくり [当初]  
再生活用・普及啓発事業

- 重伝建地区の歴史的建造物の再生・活用  
⇒本県の魅力発信・滞在型観光の実現
- 町並みあるきイベントやシンポジウムの開催  
⇒地域文化財の活用による情報発信・地域振興に



出羽島（牟岐町）

- 新** (3) 「レキシルとくしま開館25周年」プレ事業 [補正]

- 2020年の開館25周年に向け、新指定の重要文化財を先行公開
- 展示施設の充実化や出土品の保存修理等の準備を実施
  - ・重要文化財「徳島県矢野遺跡出土品」公開
  - ・重要文化財「徳島県観音寺・敷地遺跡出土品」の保存修理
  - ・レキシルとくしま重要文化財展示公開施設の整備

- (4) とくしまの歴史文化学習事業 [当初]

- 世界遺産を目指す「四国遍路と鳴門の渦潮」展及び講演会

## 未指定文化財の再発見・調査事業

- 新** (1) とくしまのレガシー（埋蔵文化財）調査事業 [補正]

- 重要遺跡調査  
⇒新たな国史跡指定を目指す
- レキシルとくしま所蔵品再整理事業  
⇒新たな重要文化財候補の選定  
⇒学校・地域文化財展等での活用



土製仮面（矢野遺跡出土）

- (2) 阿波晩茶製造技術調査事業 [当初]

全国初の  
国指定を目指す

- 平成30年3月8日、「四国山地の発酵茶の製造技術」が国の『記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財』に選択
- H30年度 悉皆調査  
⇒R元年度 詳細調査を実施、  
報告書作成



阿波晩茶の製造

製茶文化における  
重要無形民俗文化財の指定へ

### 「徳島の魅力」再発見！ 未来に継承する「新たな価値」を創造

担当：文化資源活用課

# 新 文化・スポーツ魅力創造事業

【令和元年度予算額 29,000千円】  
（うち当初予算計上 25,000千円）

## 現状

- 2020東京五輪におけるドイツカヌー代表チームの合宿誘致活動が大詰め
- ワールドマスターズゲームズ 2021関西における4競技の開催準備の加速
- 市町ごとにワーキンググループを開催。市町に眠る観光素材・キーマンを発掘



## 課題

- 観光素材の磨き上げ・人材の連携により、地域を巻き込む観光施策の展開
- 国際スポーツ大会に向けて更なるインバウンド施策の充実

地域が一体となって  
観光による地域活性化に挑戦

連携推進

「四国の右下観光局」を核に「新たな価値・消費・需要」を創造

## ～四国の右下インバウンド戦略を加速～

### 県南の強みを活かした魅力発信強化

- ① 海外プロモーションの強化
  - ・WMG関西2021誘客促進
  - 【対象国】オーストラリア・香港・台湾
  - ・海外メディア招へいによる魅力発信
  - 【対象国】アメリカ・オーストラリア  
香港・台湾・インドネシア・タイ
  - ・「ビギナーサーファー」の誘致
  - 【対象国】中国・香港・台湾
  - ・ライセンスツーリズムの推進
- ② インバウンド拡大に向けた魅力発信の強化
  - ・FIT誘客向け県南の魅力を体感できるモデルコースの提案
- ③ 外国人材の活用



海外メディア招へい(拝宮農村舞台)



観光商談会(香港)

### 県南の新たな可能性にチャレンジ

- ① DMO「四国の右下観光局」を核とした観光地域づくり
  - ・広域観光の本格展開、観光人材の育成
  - ・奥木頭・スマート回廊エリアへの誘客促進
- ② 「世界初DMV」を活用した観光コンテンツの開発
  - ・DMVと観光地をつなぐ観光周遊プランの企画提案
  - ・「モードチェンジを体感」する体験型ツアー・イベントの企画
  - ・SNS等を活用し鉄道ファンに向けた情報発信
- ③ ストレスフリーな旅行環境の整備
  - ・Wi-Fi, 多言語表記などの整備促進



CAMP PARK KITO



DMV

## ～文化・スポーツによるレガシーの創出～

### 文化

- ① 「伝統文化に参加」体験型観光の受入態勢整備【6月補正】
  - ・外国人旅行者が地域の文化や歴史に触れる体験プログラムの開発
  - ・祭り・農村舞台・かも道などを活用した外国人向けモニターツアーの実施
- ② 地域の伝統食をはじめとする「食文化の伝承」【6月補正】
  - ・地域の伝統食を外国人誘客に活用
  - ・農泊、民泊施設において外国人向け食体験プランの提供



日和佐八幡神社秋祭り



郷土料理「かきまぜ」づくり

### スポーツ

- ① 「東京オリパラ・WMG」の機運醸成
  - ・WMG開催種目の「トップアスリートによるクリニック」の開催【6月補正】
  - ・地元小学生を対象にした「サーフィンスクール」の開催
  - ・大学と連携したスポーツ合宿の誘致
- ② スポーツイベントによる経済効果の検証・消費促進
  - ・「四国の右下ロードライド」でのQRコードを活用した参加者の行動データ収集・消費促進【6月補正】
  - ・全日本サーフィン選手権大会でのアンケート調査の実施



四国の右下ロードライド



サーフィン



WORLD MASTERS GAMES 2021 KANSAI JAPAN

「儲かる観光」による「持続可能な観光地域づくり」の実現

# 競技力向上関連事業

## 全国高等学校総合体育大会や各種全国大会上位入賞

【令和元年度予算額 38,270千円】  
（うち当初予算計上 30,370千円）

小・中学生世代から将来性のある選手を発掘し継続強化

高校生の競技力向上

新たな有望競技の育成

### 新 NEO徳島トップスポーツ校強化事業 【令和元年度予算額 16,000千円】

2022年度全国高等学校総合体育大会や各種全国大会での上位入賞を目指すため、強化校を指定し、集中的に高校生の競技力向上を図るとともに、  
優秀な中学生を継続して育成するため、中・高の連携を密にし  
合同練習会を実施【6月補正】

### 新 全国高等学校総合体育大会開催準備事業 【令和元年度予算額 2,850千円】

2022年度に四国4県で開催される、全国高等学校総合体育大会の実行委員会設立準備を行う

### 渦潮スポーツアカデミー推進事業 【令和元年度予算額 10,000千円】

スポーツ拠点校である鳴門渦潮高校を中心に、**県外の強豪チーム等を招へいして**  
スポーツキャンプを実施し、選手の強化と指導者を育成【6月補正】

### 中学校トップスポーツ競技育成事業 【令和元年度予算額 5,600千円】

全国で活躍できる競技を指定し、高校と連携を図り、競技力を向上

### あわスポーツ・ブルージング戦略事業 【令和元年度予算額 2,320千円】

小学校・中学校体育連盟と連携し、将来有望なジュニア選手の発掘・育成  
高校体育連盟と連携し、入賞の可能性のある競技の強化・支援

### 県立学校スポーツ施設レガシー創出事業 【令和元年度予算額 1,500千円】

ホッケー競技の県内拠点として、阿南光高校において、全国大会が誘致可能な  
多目的球技場(天然芝)を整備【6月補正】



ライフル団体優勝



女子ラグビー全国7位

レガシーとして  
継承



トップアスリート発掘・育成



トップアスリート体力測定・分析

世界や国際大会で活躍するアスリートの育成!

担当: 体育学校安全課・施設整備課

# 文化の森総合公園 3カ年戦略

【令和元年度予算額104,070千円】（うち当初予算計上 100,200千円）

2019

プレ

開園30周年（2020）に向け、  
全館をあげて機運の醸成を図る

**新** 博物館60周年記念事業

【1,500千円】 補正

- ①「とくしまタイムトラベル 過去・現在・未来」の開催
- ②「新しい博物館」のプロモーション実施（VR展示等）

新常設展示に向けたPR



**新** 徳島自然災害歴史資料集 編さん事業 【870千円】 補正

・自然災害資料（地震・風水害）の調査・編さん・活用

収集資料の意義を広く周知



**新** アートによる文化プログラム促進事業 【10,500千円】

- ①「30周年記念&ドイツ友好展覧会」準備

【1,500千円】 補正

近代絵画の魅力発信

- ②「培広庵コレクション展（仮称）」開催

【9,000千円】



**新** 文化の森デジタルアーカイブ構築事業

【27,200千円】

- ①貴重資料のデジタル化（写真、立体的資料等）各館収集資料の集約と保存
- ②インターネットで提供（さまざまな機能：3D等）掲載コンテンツ数120→500点

●「新生・野外劇場」活用事業【14,100千円】

- ①イベントを企画・実施して、広く県内外へPR
- ②LED・デジタルアートミュージアム作品との相乗効果

●県立図書館「知の拠点」事業

【45,500千円】

- ①図書館資料の充実（子どもの本の充実）
  - ②電子書籍閲覧サービスの充実（事典等）
- 2017～2021年度で1,000コンテンツ

●ユニバーサルミュージアム展開事業

【4,400千円】

- ・「ユニバーサル美術館展（仮称）」開催（テーマ：聴覚障がい）

2020

30周年

文化の森開園30周年記念事業

- 「県立博物館」プレビューオープン

- 文化の森内 デジタルアーカイブ 閲覧システム拡張

- 「30周年記念&ドイツ友好展覧会」開催

- 鳥居龍蔵 生誕150周年・博物館開館10周年記念事業



- 屋外彫刻展（仮称）開催

- 自然災害 歴史資料コンテンツ（解説文付）作成

文化レガシーの創出

東京オリンピック・パラリンピック

2021

ポスト

「県立博物館」グランドオープン！

未来志向の「あわ文化発信拠点」に！！



担当：文化の森振興本部

## これまでの取組

### スマート回廊を核とした地域振興

- ▶ H28スマート回廊地域創造事業実行委員会設置
- ▶ 東京五輪キャンプ地誘致を見据えたカヌー拠点の整備支援
- ▶ H30「川口ダム湖畔活性化構想」検討



カヌーセンター



## 課題

継続した湖面活用



未利用局有地

- ▶ 東京オリ・パラ後のカヌーレガシーの継承
- ▶ スマート回廊周辺施設等との連携
- ▶ 親水エリア・未利用局有地の有効活用

➡ ダム湖畔の活性化によるスマート回廊の発展

## 川口ダム湖畔活性化構想（5か年計画）



## R元事業概要 ～カヌーレガシーの継承～

### ●ダム湖畔のカヌー・SUP拠点整備着手

#### 川口エネ・ミュー第2駐車場の護岸等整備

- カヌー・SUP等の発着場新設 → 詳細設計
- 駐車場の拡幅 → 詳細設計・造成



#### 国道195号沿いの景観保全

- ➡ 支障木の伐採



#### 湖面活用のための準備

- ➡ 湖面ルール策定のための協議会立ち上げ



SUP

#### 那賀町・地元観光施設との連携

- ➡ カヌー・SUPイベント等の継続実施



カヌー

川口ダム湖畔に“新たなスポーツ聖地”の創出

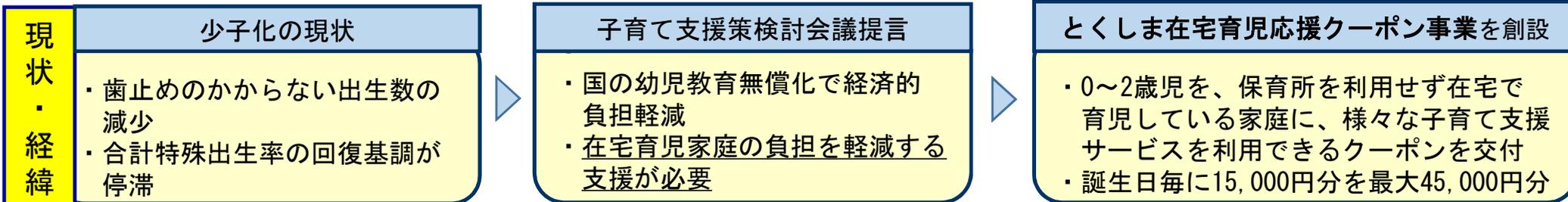
# スマート回廊の進化・発展による地方創生

担当：経営企画戦略課

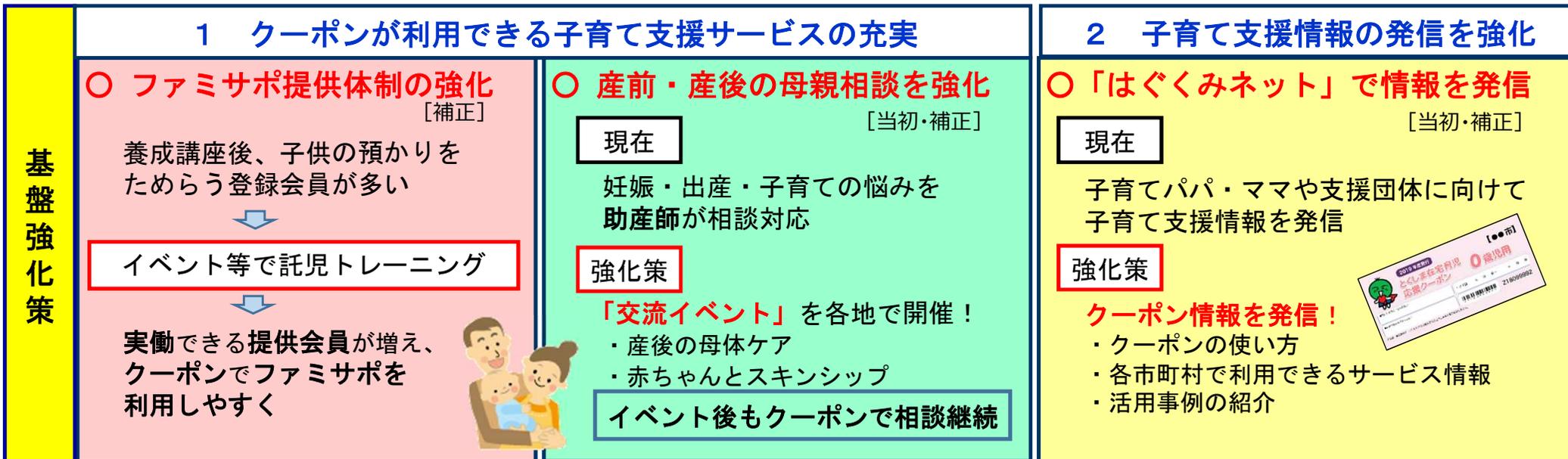
# 新 子育て支援サービス基盤強化事業

【令和元年度予算額 4,000千円】

(うち当初予算計上 1,500千円)



-120-



出産・育児におけるトータルサポートの展開 → 希望出生率1.8の実現へ

# 児童虐待防止対策の強化

【令和元年度予算額26,283千円】  
（うち当初予算計上額 7,202千円）

## 背景

児童虐待相談対応件数の増加  
相談内容の複雑多様化  
重症事例の増加

全ての子どもに対して切れ目ない支援を提供するため  
児童相談所の体制強化及び職員の専門性の向上が必要

虐待関係職員専門性強化事業(8,200千円) ・ 児童相談所費(児童相談所機能強化事業)(7,851千円)

### 職員の専門性の確保及び資質の向上

- ◆児童福祉司等義務研修[当初]
- ◆スーパーバイザー研修[当初]
- ◆専門性強化研修
- 新 家族面接スキルアップ[補正]
- 新 ケースマネジメント[補正]
- ◆児童福祉専門職員養成  
新任研修、虐待対応資質向上研修[当初]
- 新 司法面接研修[補正]
- 新 ◆保護者支援等講習会[補正]



### ○新 法的措置に対応しうる体制強化

- ◆司法面接に必要な環境整備[当初]
- 検察・警察との連携及び情報共有  
子どもの負担軽減
- ◆医学上の診断(外傷等)[当初]
- 証拠能力の向上



### 関係機関との連携強化

- ◆学校・医療機関等からの虐待通告に向けた  
ガイドブックの作成
- 新 子どもの権利ノート改訂[補正]
- ◆市町村との連携強化と適切な役割分担
- 新 虐待対応市町村支援専門員の配置[補正]
- ◆警察との情報共有や連携体制の構築[当初]



### ○新 里親支援ステップアップ事業 (10,232千円)

#### 里親養育支援体制の構築

- ◆里親のリクルート及びアセスメント[当初]
- ◆登録前・登録後及び委託後における里親に対する研修[当初]
- ◆里親家庭への訪問支援や相談支援[当初]
- 新 ◆新生児委託トレーニング[補正]
- 新 ◆2020年「全国里親大会徳島大会」開催準備[補正]
- 新 ◆「社会的養育推進計画」策定[当初]
- 新 ◆里親支援専門員の配置[補正]



複雑・困難化する  
児童虐待事案への  
迅速・的確な対応



## 子どもたちの健やかな成長と明るい未来の実現！

担当：次世代育成・青少年課子ども未来応援室

# 子どもの居場所づくりの推進

【令和元年度予算額 8,500千円】

## 現状・課題

家庭と子どもの孤立化  
家庭の教育力の低下  
地域の見守り機能の低下

## 対策

「地域」と「子ども、保護者」のつながりを強化  
基本的な学習習慣や生活習慣の習得支援  
地域の大人たちや年代の異なる子どもたちが交流できる場の提供



H30

**子どもの居場所づくり推進会議**  
地域や民間団体等が一体となり子どもたちを育む仕組みをつくる

**子どもの未来応援コーディネーター養成**  
地域で核となる人材の育成

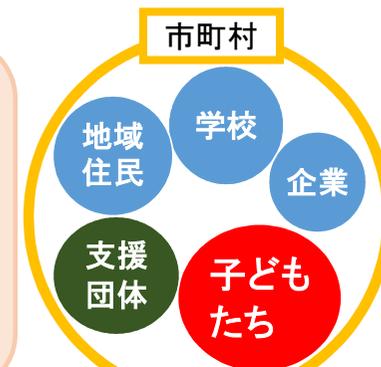
R元

**（新）子どもの居場所づくり推進事業** 子どもの居場所づくり推進コーディネーターを配置  
→既存の社会資源を活用した仕組みづくり

- 広域的な支援者バンクを設置
  - ・ 地域住民・企業・団体・学校等との連携
  - ・ 支援者バンク情報の収集・発信

- 市町村を支援
  - ・ 支援者バンク活用によるネットワーク構築支援
  - ・ 地域での展開に向けた交付金等の活用支援

- 民間団体を支援
  - ・ 相談窓口の一元化
  - ・ 講座開催による開設・運営支援
  - ・ 支援者とのマッチング



子どもの居場所づくり推進コーディネーター

地域で見守り育てる



多世代交流  
ユニバーサルカフェ

民間団体等がすすめる  
**子どもの居場所**  
地域住民の交流の場

H30  
10カ所

R元  
15カ所

R2  
20カ所

将来的には、  
県下全域へ



学習や生活習慣の習得

食育の推進  
食品ロスの削減



民間団体等が自立し、  
継続可能な活動が展開

# 地域全体で次代を担う子どもたちを育む社会の実現

担当：次世代育成・青少年課こども未来応援室

# とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業

【令和元年度予算額 30,500千円】  
(うち当初予算計上 26,100千円)



## 現状

- ・マッチング会員数: 811名
- ・イベントユーザー会員数: 2,027名
- ・カップル成立報告数: 722組
- ・成婚報告数: 25組 (H31.3月末現在)

開設から  
約2年半

## 課題

- ・「マリッサとくしま」の認知度の向上
- ・市町村、企業等における結婚支援の促進
- ・独身者へのフォローの充実
- ・効果的な出逢いの場の創出



### ○とくしまマリッジサポートセンター事業[当初]

- 1対1のマッチング事業
- 出逢いイベントの運営
- プチコン(気軽な出逢い)の運営
- 結婚応援セミナーの開催 等



マリッサとくしま  
の運営

市町村、  
企業等における  
結婚支援の促進

### ○結婚支援ネットワーク会議 の開催[当初]

- 新** 企業・団体間交流アドバイザー  
の設置[補正]
- 企業間交流イベントの開催支援等
- 新** 公的結婚支援ポータルサイト  
の開設[補正]

マリッサとくしまを拠点とした結婚支援

### ○阿波の縁むすびサポーター ネットワーク構築事業[当初]

- 地域におけるサポーター交流会や  
研修会の開催
- フォロー事例集の作成
- 感謝状の贈呈

### **新**「個別相談会」開催事業[補正]

- 専門家によるきめ細やかな支援

独身者への  
フォローの  
充実



カップル成立を  
促進する  
出逢いの場  
の創出



### ○恋するがっこう事業[当初]

- コミュニケーションや身だしなみ等  
のセミナー付き出逢いイベントの  
開催
- 農業・文化・スポーツ・防災等、  
テーマに応じた多彩なゲストによる  
体験型出逢いイベントの開催

## 「未来へつなぐ結婚支援」で希望出生率1.8を実現

担当: 次世代育成・青少年課

# スーパーオンリーワンハイスクール事業

～新未来創生とくしまプロジェクト～

次世代の地域  
リーダーを  
育成

【令和元年度予算額 10,000千円】  
（うち当初予算計上 2,500千円）

## 「全国・世界」を目指した高校生による徳島ならではの取組や研究を支援!

1. プレゼンテーション審査を庁内に公開!
2. 全国大会等への出場・入賞数→入賞数をKPIに!
3. 発表会・パネル展示・要旨集などにより活動成果を周知!
4. 審査会や発表会の優秀校にインセンティブを!

地方創生を具現化する6の応募テーマ

地場・地域産業振興

『移住・定住・交流人口』の増加

伝統文化・伝統食の継承

観光・インバウンドコンテンツ

地域振興イベント・にぎわいづくり

郷土への愛着・誇りの醸成

再構築

旧テーマ  
最新技術活用  
地域交流・創造  
芸術・伝統文化  
地方創生  
学術・研究開発  
環境・エネルギー

### 3つの実施ステージで学校のニーズに対応

#### 「地域」

実施校2校  
書類審査のみ  
宝の島『とくしま』を再発見

・地域の宝を課題解決に活用し、とくしまの潜在力を発掘



地域の子供・高齢者問題を分析し、解決策を発信 (城北高校)

#### 「全国」

実施校2校  
課題解決の先進事例を全国へ  
・地域課題の解決に取り組み、成果を全国に発信



防災棟中電灯や防災トイレの普及・教材化 (阿南工業・阿南光高校)

#### 「海外」

実施校2校  
課題解決のグローバル展開  
・地域・社会課題の解決に、世界的視点から取り組み、成果を世界に発信



ドイツ研修を通じた那賀町の林業振興やオリンピック選手回誘致 (那賀高校)

「全国」・「海外」は書類審査の通過後、プレゼンテーション審査を経て実施校を決定



生徒による発表・審査員からの質疑応答

### 実施校の取組を大きく支援・広報の充実

実施校認定証授与式

生徒活動発表会

活動成果パネル展示



知事へ事業計画をプレゼンテーション



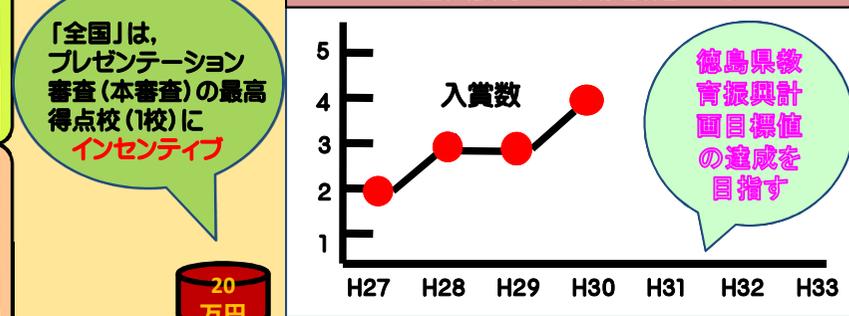
最優秀校は、次年度の応募で書類審査を免除



活動パネルを公共施設等で展示し、広く周知

### 徳島ならではの取組をより高い目標で

全国大会等での入賞数をKPIに



「全国」は、プレゼンテーション審査(本審査)の最高得点校(1校)にインセンティブ

徳島県教育振興計画目標値の達成を目指す



海外展開は配分額をアップ

担当: 学校教育課

# とくしまの未来を切り拓く「グローバル人財」の育成

【令和元年度予算額 23,350千円】  
 (うち当初予算計上 14,830千円)

**新** とくしま英語教育イノベーション研修事業  
 【令和元年度予算額 1,150千円】  
 (うち当初予算計上 1,150千円)

## 教員の指導力・英語力向上を図る

小学校教員対象

### 駆けつけます！ 出前！小英ヘルプデスク

- ・学校の課題に応じたオーダーメイドの出前研修
- ・小学校外国語教育の拡充と強化

### やってみよう！ 発音トレーニング&授業改善

- ・受講日が選択可能な発音強化英語力向上研修
- ・最新の指導方法伝達講習で小学校教員の力量アップ

小・中学校教員対象

### すべての子どもを支援する 小中英語教育ユニバーサル化講座

- ・インクルーシブ教育の視点からの指導方法習得研修
- ・子どものニーズに直接アプローチ

### つながろう！ 小中ALTコラボレーション研修

- ・協働でタスクに取り組むオールイングリッシュ研修
- ・一層の小中連携と系統的な指導方法の習得

中学校・高等学校教員対象

### 指導力のブラッシュアップ！ 中高英語発信力育成研修

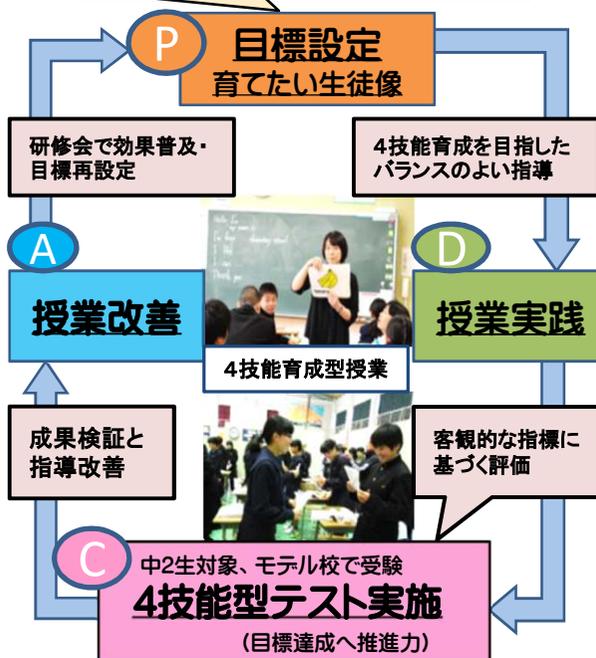
- ・大学機関等と連携し、4技能向上のための指導法研修
- ・ディベート等英語発信力のあるグローバル人財の育成

6月補正

**新** 世界スタンダード英語4技能育成事業  
 【令和元年度予算額 8,000千円】

## 4技能型テスト実施で英語力向上を目指す

「実施計画案」を提出  
 (CAN-DO型 英語を用いて「～できる」)



## 小学生・中学生の英語検定試験受験推進

- ・小学校教員に受験方法や受験機会の情報を提供するとともに小学生に受験を動機付け(英検Jr.)
- ・受験のための環境を整備(英検準会場確保)
- ・中学生に学校単位での受験を促進(3級～5級)

**新** Tokushima英語村プロジェクト  
 エンジョイ！コミュニケーション事業  
 【令和元年度予算額 14,200千円】  
 (うち当初予算計上 13,680千円)

**現状** 2020年度小学校で新学習指導要領全面实施  
 小学校3・4年生から英語教育本格スタート

**課題** 外国人とコミュニケーションを図る機会の不足  
 学校で学んだ英語を使う機会の不足  
 小学校英語教育に対する保護者への周知

6月補正

## 親子で学ぶわくわくイングリッシュデイ

小学3・4生と保護者

英語学習入門期の児童に体験活動の機会を提供  
 保護者も参加で小学校外国語教育への理解促進

### 初めての英語アドベンチャーで ドキドキを体験！

- 英語でのスポーツやゲームなどの体験活動
- 世界の自然・文化を留学生から直接学ぶ



小学5・6生	ALTとともに徳島を学ぶわくわくデイキャンプ
中学生	世界に飛び出せ！イングリッシュキャンプ
高校生	徳島グローバルキャンプ
	高校生「AWAスペシャル体験サポーター」養成講座

学びや体験をつなぎ、深め、英語コミュニケーション能力の更なる向上！

担当：教職員課、グローバル・文化教育課

# 新 夜間中学設置推進事業

## 事業の目的

義務教育の機会を実質的に保障するため、夜間中学の設置を推進する

【令和元年度予算額11,000千円】

## 背景

### 夜間中学の役割

- 義務教育の機会の提供
  - ・義務教育未修了の者
  - ・不登校等で学び直しを希望する者
  - ・外国籍の者

### 国の動向

- 教育機会確保法  
地方自治体に夜間中学の設置等の措置を講じる義務
- 義務教育費国庫負担法  
県が設置する夜間中学の教職員給与に要する経費の3分の1が国庫負担
- 第3期教育振興基本計画  
都道府県に一つの夜間中学を設置促進

### 県内の状況

- 義務教育未修了者  
⇒ 1,425名《平成22年国勢調査》
  - 中学校不登校の者  
⇒ 483名《平成29年度》
  - 外国人労働者  
⇒ 4,024名《平成29年度》
- 入管法改正による、今後の受入数増加

## これまでの取組み

- 中学校夜間学級調査研究事業  
中学校夜間学級協議会の設置  
(全市町村・中学校長会・県教委)
- 需要調査、アンケート調査  
⇒ **ニーズの存在を確認**
- 県内における夜間中学の設置検討  
⇒ **県立夜間中学設置の検討を提言**

## 夜間中学設置の方向性

☆2021年4月設置



## 事業概要

### 2019年度の主な取組み

#### ■積極的な広報周知活動の推進

- ・フライヤー・ポスター制作と配布
- ・ホームページ、広報誌等への掲載
- ・夜間中学シンポジウム等の開催

#### ■中学校夜間学級協議会の開催

- ・県と市町村の役割分担及び連携
- ・入学者への就学支援等の在り方

### 2020年度

- 開校に向けた取組みのさらなる推進
- ・産業教育実習棟改修工事
  - ・入学者募集、体験入学、入学説明会等

#### ■具体的な入学希望者の把握

- ・全県的な入学希望調査の実施
- ・関係機関等と連携した、きめ細かな潜在的ニーズの掘り起こし

#### ■新設準備に係る調査研究

- ・多様なニーズに対応する工夫
- ・教員及び日本語指導員等の配置

#### ■設置に向けた施設・設備の整備

- ・徳島県立徳島中央高等学校産業教育実習棟の改修設計

「多様な学びを支える」 安心感に満ちた教育環境の創造

担当：学校教育課  
教育創生課

# 新 とくしまリカレント教育推進事業

【令和元年度予算額 6,700千円】

## 現状・課題

- ・人生100年時代に対応した「学び直し」の場が求められている
- ・実践的なリカレントプログラムの多くは**大都市圏で実施**されており、**県内の受け皿は不足**

## 施策の方向性

- ・産学官が連携した新たなリカレント教育推進体制を整備
- ・**高等教育機関と連携し、社会人や産業界のニーズに即したリカレントプログラム**を開発し、人材のスキルアップ・キャリアアップを支援



## とくしまリカレント教育支援センター(仮称)の設置

○職業上必要なスキルの修得やキャリアアップ・再就職につながる実践的な学び直しを推進

### 一元的な情報発信と相談窓口の設置

- 県及び連携機関が実施する**リカレント教育情報を集約**
- ⇒ まなびーあ徳島HP等による一元的な**情報発信**  
**とくしま丸ごとAIコンシェルジュ(仮称)**と連携

産学官が連携して  
推進体制を構築



### 新たな教育プログラムの開発

- 「とくしま産学官連携プラットフォーム」を活用し、社会人や県内企業等の**ニーズを把握**

## 高等教育機関と連携したモデルプログラムの実施等

モデルプログラムを  
開発

将来的に実施

### 基本コースの開設

10~25時間程度

【概要】短時間で**基礎的内容**を修得

- 【例】・マーケティング入門講座、
- ・IoT・AI活用講座等



### 実践コースの開設

60時間未満

【概要】職業に必要な**実践的知識、技術等**を修得

- 【例】・介護医療職の口腔ケア管理プログラム
- ・技術者向け品質工学プログラム等

ニーズ・課題等を整理した上で  
専門コースの開設を検討

### 専門コース(履修証明プログラム)

概ね1年程度

【概要】職業に必要な知識、技術等を**基礎から応用まで体系的に**修得

- ⇒履修証明書の交付
- 【例】・アスリートのキャリア形成支援
- ・子どもの発達と援助学プログラム等

あらゆる世代の人々が、意欲・能力を活かして活躍できるエイジフリー社会が実現

担当：県立総合大学校本部

# 林業の新たな担い手総合対策

【令和元年度予算額 104,000千円】  
（うち当初予算計上 85,500千円）

H31

## 森林環境譲与税の創設

H31

## 森林経営管理法の施行

市町村が未整備森林を新たに管理

〈事業のポイント〉 ライフステージに合わせた林業体験・研修と

個人のキャリアに応じた学びの支援により、新たな担い手となる人材の確保と事業体の強化を図ります

### 体験・研修

#### 小中高校生・大学生

#### 新 集まれ！山の学舎

#### フォレストキャンパス事業

フォレストキャンパスを核に、  
職業としての林業を体験する  
イベントを実施

林業版キッズニアで  
シミュレーターを体験



#### 働き手世代

#### ・とくしま林業アカデミー オープンキャンパス事業

アカデミーへの入学を後押し

参加者1名がH31入学



#### ・森林女子就業推進モデル事業

機械化された新しい林業を体験し、  
イメージを一新

安全で簡単な作業

#### アクティブ・シニア

#### 新 来たれアクティブ・シニア植林隊事業

主伐の増加でネックとなっている  
植林の人材不足を解消

#### 新 森林のマイスター活用事業

引退前に高度な技術を伝承



### アカデミー

#### とくしま林業アカデミー事業

現場の即戦力となる人材を1年間で養成  
1～3期生37名、4期生15名(うち女性2名)  
就業マッチングやアフターアカデミーを実施  
卒業生を就職後もバックアップする体制を整備

卒業後もメンタル  
面で支援



職業紹介許可取得

### 入学・就業

### 林業事業体

#### 新 とくしま林業リカレント支援事業

～3年

・緑の雇用新規就業者育成事業(国事業)  
初歩的な技術研修を実施

5年～

・森林のプロフェッショナル育成事業  
高性能林業機械で搬出間伐のプロに

10年～

・森林のスペシャリスト育成事業(補正)  
大径材など高度な主伐を担うスペシャリスト

高度な技術を  
段階的に取得

新

森林のポーター育成事業(補正)  
事業体が自ら運搬できるよう  
大型免許の取得を支援



#### 新 主伐時代の経営体育成事業(補正)

コンサルティングやメンタリングマネジメントにより、  
事業体の育成・強化、規模拡大

安全・安定・高収入へ

輸送人材不足解消



体質  
強化



意欲と能力のある林業経営体

次世代へ繋げる森林の保全と林業の成長産業化を実現

担当: 林業戦略課

# 人づくり革命・浜を支える意欲ある担い手づくり！

【令和元年度予算額 57,200千円】  
（うち当初予算計上 55,686千円）

**背景** ・漁業就業者の減少・高齢化  
・魚価の低迷による漁業所得の低下

**現状** ・就業直後を支援する制度の創設 (H28)  
・とくしま漁業アカデミーの開講 (H29)

**課題** ・卒業生の経験不足や就業直後の経済的不安  
・中堅・ベテラン漁業者の更なるスキルアップ

「新規就業者」から「ベテラン漁業者」まで、すべての就業段階に応じた「リカレント教育」を導入！！

就業希望者

## とくしま漁業アカデミー運営事業

事業費 24,400千円

**課題** 漁師になりたいが学ぶところがない！

- 誰もが徳島の漁業を学ぶことができる「とくしま漁業アカデミー」運営を支援
- 座学・現場実習・資格取得からなる1年間の研修で浜を支える担い手を養成

就業希望者を  
浜の即戦力へ！！



## （新）人づくり革命・漁業リカレント事業

事業費 32,800千円

### アカデミー卒業生 **（新）** アフター・アカデミー・プログラム事業

青年漁業者

### 浜の担い手育成支援事業

**課題** 独立への経験不足！

- 漁業現場でのより高度な実践的研修
- 現場の課題を座学で再履修



アカデミー卒業生を一人前の漁師に！！

「アカデミー卒業後こそ支援が必要」 [水産業未来創生TFの意見]

**課題** 就業初期は収入が少ない！初期投資が多い！

- 就業直後の不安定な経営を支援
- 青年漁業者の資材購入等を対象



経営自立をサポートし、浜への定着率アップ！！

中堅・ベテラン漁業者

## （新）浜のリーダー成長促進事業（補正）

**課題** スキルアップの機会が少ない！

- 5Gを見据え、IoTやAIなどの先端的研究に取り組む  
大学・高専・民間企業等との交流・連携
- 先端技術に関する研修会、先進地視察
- 流通・消費動向に関する研修 など



シナジー効果による  
新たなビジネスチャンス  
の創出！！



マリンドローンを活用した  
漁場調査・監視技術



藻類陸上養殖技術

とくしま農林水産未来人材スクールで農林水一体的にPR！！

効果的なリカレント教育で浜のリーダーとなる人材を育成し、「水産業の成長産業化」を実現！！

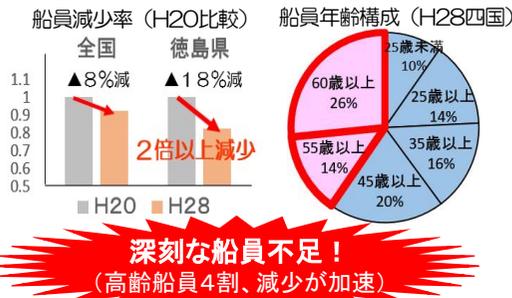
担当：水産振興課

# 新 船員確保による海運業活性化事業

【令和元年度予算額 3,000千円】

## 現状

- 海外貨物99%、国内貨物44%が海上輸送  
海運業が「暮らしや産業」を支えている
- 県内内航船員数は平成20年度比較▲18%減  
全国平均(▲8%減)の**2倍以上の減少**
- 全国的に船員が高齢化が進んでおり、  
特に四国では**55歳以上の船員が4割**を超える



## 方向性

- **次世代人材を確保**するためには  
⇒ 海運業の魅力を発信し、  
認知度を向上させることが必要  
⇒ 就職先として、県内海運業の  
積極的なPRが必要  
⇒ **採用後の資格取得に**  
対する**支援も必要**

徳島モデル

## 認知度向上

長期的  
対策

- ◆ 次世代の人材を担う、小中学生を  
対象に出前授業・乗船体験を開催



出前授業



乗船体験

- ◆ 海運業者と協働し、各種イベントを  
通じて、海運業の魅力を発信



シルバー人材も活用

みなとマーケット



PRイベント

## 就業支援

短期的  
対策

- ◆ 担い手不足を解消するため、  
UIJ就職フェアなどを通して、  
県外出身者にも県内海運業をPR



UIJ就職フェア



- ◆ 工業高校や商船系学校に  
就職先の選択肢として、  
県内海運業を紹介



海運業ガイド

## 新

## 資格取得支援制度の創設

中期的  
対策

- ◆ 安定的な船員の育成に向け、船員の  
第一歩となる「6級海技士」に必要な  
資格取得費用を助成

船員を目指す人材  
(無資格者・UIJ希望者)

船会社が採用

海技学院  
(座学2.5ヶ月 +  
乗船経験2ヶ月)

船社での乗船経験  
+6ヶ月



船員必須  
の資格!

船員育成に熱心な  
船会社を支援



船乗りさん!

来たれ海運業へ！次世代船員の確保による地方創生の実現

担当：運輸政策課

# とくしま科学技術アカデミー—Society5.0体感事業

【令和元年度予算額5,000千円】

## 現状・課題

- ・AIやIoT、ビッグデータ等の社会実装が進む中、今後ますます、高い「技術力」や「研究開発力」を備えた「科学技術人材」が求められている
- ・先端技術(EdTech)を効果的に活用した「高度な学びの場」が必要

## 施策の方向性

- ・「次世代“光”創出・応用のための専門人材育成事業」と連携し  
“光”をテーマにした講座を実施
- ・Society5.0に対応し「AI」や「ロボット」、「IoT」等をテーマにした講座を開催



### とくしま科学技術アカデミー

中高対象

#### エキスパート養成講座

【対象】高校生  
【概要】大学の研究室等で大学生や大学院生と共に研究に取り組む少人数制の連続体験講座。来年度は「AI」「ロボット」で実施



腸内フローラ研究

#### リケジョ養成講座

光事業とコラボ

【対象】女子中高生とその保護者  
【概要】理工系女子大学生等との交流の場を設けるとともに研究の面白さを体感できる体験講座を「光」をテーマに実施



リケジョ体験講座

#### 実践講座(総合教育センター)

【対象】中高生  
【概要】科学技術への興味関心の高揚を図るため、国際科学オリンピックの種目「物理・化学・生物・地学」の4分野における実験講座等を実施



“光”の性質を体験

### とくしま科学技術Jr.アカデミー

小中対象

#### 体験講座

【対象】小中学生  
【概要】県下各地域において、プログラミング講座やAR(拡張現実)・VR(仮想現実)体験講座等を実施



プログラミング講座



ドローン体験講座

#### 出前講座(総合教育センター)

【対象】小学校・中学校  
【概要】理科専門員(退職理科教員)を派遣し、観察・実験型の授業を実施。また民間企業と連携し、最先端技術を体験する講座を実施



水に溶けたもの  
行方を追おう



ブタの肺・心臓・  
小腸を観察してみよう

## Society5.0を見据えた科学技術人材の育成

担当: 県立総合大学校本部

# 私立学校振興事業

【令和元年度予算額 924,407千円】  
 (うち当初予算計上 165,754千円)

当初

## 私学教育に係る経済的負担の軽減

### 高校生等への就学支援

◆高等学校等就学支援金	105,390千円	就学支援金+授業料軽減	
◆私立高等学校等授業料軽減費補助金	31,880千円	年収	支援額
◆奨学のための給付金	23,000千円	350万円未満	授業料 全額
		350~590万円未満	授業料 半額
		590~910万円未満	118,800円(年額)
		910万円~	なし

### 小中学生への就学支援

- ◆私立小中学校授業料軽減費補助金 3,000千円  
 ・年収400万円未満の世帯に10万円を給付



### 専門学校生への就学支援

- ◆専門学校生への効果的な経済支援の在り方に関する実証研究事業 1,711千円  
 ・就学支援アドバイザーによるセミナー及び個別相談

## 建学の精神に基づく特色ある教育を支援

- ◆私立学校運営費等補助金
  - (1)一般補助(運営費補助) 671,246千円
  - (2)特別補助(輝く私学) 27,564千円
- ◆日本私立学校振興共済事業団補助金 8,990千円
- ◆私立学校退職金社団補助金 21,343千円



## 子育て世帯の負担を軽減

### 新 幼児教育の無償化

27,262千円

### 私立幼稚園を無償化 ~国・県・市町村で子育て家庭を支援~

- ・対象経費は**入園料と保育料**  
 ⇒**世帯の所得に関わらず**、一律月額上限 25,700円
- ・**幼稚園の預かり保育も対象**  
 保育の必要性の認定  
 ⇒月額上限 11,300円



令和元年10月 から実施

### 新 高等教育の無償化

537千円

### 私立専門学校の無償化の円滑な導入

- ◆事務処理体制の構築(2年間国費負担)
  - ・説明会の開催
  - ・対象学校の確認
  - ・適正な事務処理体制の整備



令和2年度から制度開始

家庭に対する支援の拡充

家庭に対する支援

学校に対する支援

6月補正

幼児期から高等教育まで「切れ目」なく高い水準の教育が受けられる社会の実現

担当:総務課

# ① 夢を実現！若者未来創生事業

## 事業概要

【令和元年度予算額 3,200千円】

徳島の未来を担う若者が、地方創生につながる身近な課題について未来志向で対話し、課題解決のための新しい視点や手法を生み出す「とくしま若者フューチャーセッション」を開催するとともに、若者が集い交流する場づくりを目指す。

これまで

人材育成

### 若手リーダーの育成

- 平成27年度 フューチャーセッションの開催
- 平成28年度 +ファシリテーターの養成
- 平成29年度 +若者自らがフューチャーセッションの企画・運営を体験
- 平成30年度 +サマースクールの開催



R元年度

活躍の場の創出

### ② 若者交流の場の創出

「若者交流の日(毎月第1金曜日)」に青少年センターの一室を開放し、若者が気軽に、自由に交流する「ミニフューチャーセッション」の場を創出

育成した若者の活躍の場



### フューチャーセッションの総決算

これまでの上位アイデアを総ざらえし、課題解決の新たな視点や手法について話し合う。

若者自らのアイデア実現をサポート

新たな人材の育成

さらに

現場で活躍

### 事業の枠組みを超えた若者の活躍

- ・若者が自主的にフューチャーセッションを企画・運営 → 課題解決の手法として確立
- ・若者の課題解決グループの構築
- ・人材バンクへの登録による「審議会委員への就任」等、政策決定の場への若者の更なる進出・活躍

# 徳島の未来を担う『若者が主役』となる地方創生の実現

担当: 次世代育成・青少年課

# 新 「とくしま農林水産未来人材スクール」 開設準備事業

【令和元年度予算額1,500千円】

## 課題

- 次代を担う人材育成・確保に向けた
- ・農林水産各分野のアカデミーの効果的運用
- ・多様な人材の活躍促進

## 対応策

- ・産学官金が連携し、新規就業者の養成に加え、リカレント教育を推進する新たな体系を構築
- ・新規、若者、女性、障がい者、アクティブ・シニアのキャリア形成・スキルアップ支援

## 本年度の取り組み

ワンストップ機能の強化  
リカレント教育の充実

- 総合相談窓口
  - ・相談者のニーズにワンストップで対応し、未来の農林水産業を担う人材を総合的に育成
- 広報活動
  - ・ホームページ等の作成
  - ・受講生の共同募集
  - ※農林水産業の魅力及び未来人材スクールを紹介
  - ※2次元バーコードを用い、わかりやすくPR
- 現地見学会の実施
- 経営モデルの提示
  - ・業種をまたがる複合経営モデルを提示



## とくしま農林水産未来人材スクール開設

コース \ 分野	アグリ	フォレスト	マリン
就業コース	・農業大学校 ・かんきつアカデミー	・林業アカデミー	・漁業アカデミー
キャリアアップコース	・アグリビジネススクール(6次化・経営・農機コース等)	・林業技術研修 新 プロフェッショナル研修等	・漁業アカデミー短期講座(浜の女性・若手リーダー養成等)
体験コース	・アグリビジネススクール(営農基礎講座等)	・森林女子林業体験コース 新 アクティブシニア植林隊等	・漁業アカデミー短期講座(徳島の漁業応援隊養成コース等)

※とくしまリカレント教育支援センター(仮称)との連携

新時代「令和」を担う  
多様な人材の育成・確保を強力に推進!

## 教育機関

大学等	・徳島大学 ・鳴門教育大学 ・徳島文理大学 等	・四国大学 ・阿南高専 等
高校	・城西高校 ・科学技術高校 等	・那賀高校
小学校・中学校		

## とくしま農林水産未来人材スクール(産学官金連携)

- ・講師の相互派遣(人材バンクの設置)
- ・講座の相互受講・インターンシップ
- ・機械・施設の相互利用
- ・関係団体・民間企業の人材育成を支援

## 関係団体・民間企業等

- ・農林水産関係団体(農協、森林組合、漁協)
- ・産地人材育成塾(海部きゅうり塾、れんこん塾)
- ・企業(タキイ種苗(株)、みのる産業(株)等)
- ・外国人雇用法
- ・障がい者授産施設
- ・金融機関等

担当：農林水産総合技術支援センター経営推進課

# 新 高大・地域連携キャンパス実践展開事業

【令和元年度予算額 2,350千円】  
（うち当初予算計上 890千円）

## 阿南光高校

本県初となる  
「農・工・商一体」の専門高校

宝田キャンパス

新野キャンパス

徳島大学サテライトキャンパス

6次産業化教育の展開及び研究開発の推進に関する協定書(H28.3.17締結)

本館を新築。最新のフードデザイン実習室、バイオテクノロジー実習室を備え、6次産業化商品の加工・開発を行う。ロボット実習システムも新たに整備。

ほ場に加えてLED植物工場を整備。農産物生産実習フィールドとして活用する他、徳島大学生物資源産業学部との高大連携による共同研究を行う。学校施設の開放により、地域に開かれたキャンパスを目指す。

### 事業の概要

#### 高大連携による実践的教育の展開

- ・大学研究者による植物バイオテクノロジーの授業・技術指導
- ・LED植物工場での高大連携教育
- ・地域企業・団体の技術指導による6次産業化商品の開発

#### 地域に開かれたキャンパスづくり (6月補正)

- ・キャンパス産野菜・花きの直売マルシェ
- ・地域との合同防災訓練の実施
- ・生徒会館をはじめとする学校施設の有効活用



#### とくしまイノベーションセンター

徳島大学生物資源産業学部・  
地元企業・団体との連携



授業・技術指導



共同研究・商品開発



#### LED植物工場

LED照明による  
農産物の栽培



販売実習

#### 生徒会館

2F 宿泊施設  
1F カフェスペース  
会議室



- ・シェアカフェ、高校生カフェなどとして活用
- ・地域のワークショップや講演会、イベント等を企画・誘致
- ・生徒や学生の研究・スポーツ合宿に利用

#### グラウンド

例えば、  
・ドローン研究  
・ソーラーカー研究



体育館

#### 直売マルシェ



#### 合同防災訓練



### 事業効果

地方創生を担う  
人材の育成

地域の  
特性を活かした  
新産業の創出

地域の  
にぎわい創出

担当:教育創生課

# 新 新未来創造・高校生育成プロジェクト

【令和元年度予算額 9,600千円】  
 (うち当初予算計上 8,100千円)

## 現状・課題

### 予測困難な社会変化への対応

新しい時代に必要となる資質・能力の育成  
 将来につながる協働的ネットワークの構築

### 「探究」活動を中心とした「深い学び」の実現

未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成  
 社会との連携・協働, 高大接続改革への対応  
 高等学校学習指導要領改訂(2018年), 大学入学共通テスト導入(2020年)

未来の徳島を牽引する  
 トップリーダーの育成

## ネクスト・リーダー育成プログラム

社会の諸課題に挑む意欲と学力を持ち, 社会を牽引する人材育成!!

年間を通じた継続的プログラムで意欲・学力向上  
 学校の枠を越えたネットワークの構築

【6月補正】徳島ウインターキャンプ 12月 1泊2日

- ◆大学生・社会人との座談会
- ◆高校生サミット 成果のまとめ



- ◆知事, 教育長への政策提言
- ◆大学教授等による講演



高校卒業後は, 大学生・社会人講師として参加

### 新 高校生サミット 毎学期実施

- ◆高校生版タスクフォース  
県や地域の課題解決を考える
- ◆本県ゆかりの社会人とのセッション  
知事, 教育長, 各界で活躍中の社会人



### 新 「探究」セミナー 1・2学期実施

- ◆スーパーティーチャーによる教科別講座
- ◆大学教授等による学問分野別講座
- ◆大学生・社会人による意欲向上・学力向上講座



## サイエンス・スペシャリスト育成プログラム

科学の力で徳島から世界規模のイノベーションを実現する人材育成!!

多様なプログラムで「突出した」サイエンティストを発掘・育成

### ハイレベルサイエンス講習会

- ◆科学五輪に挑戦 ⇒ 世界大会参加!

化学, 生物, 物理, 地学, 数学のハイレベル講習

### 科学の甲子園・科学の甲子園Jr 県大会

- ◆科学の甲子園に挑戦 ⇒ 全国上位!

科学技術に関する知識・技能を競い合う団体戦

### サイエンスフェスティバル参加

- ◆京都大学で研究発表, 教授から直接指導 ⇒ 京都大学との連携! 交流から深い学びへ!

全国レベルの実践研究発表  
 県内外の生徒と切磋琢磨

### 探究アシスト事業

- ◆高大接続改革フォーラム・情報交換会 ⇒ 県内5大学との連携! 大学入試改革にも対応!

教員の資質・能力向上

高・大の緊密な連携で相互の教育・研究システムを向上

### 新 サイエнтиスト育成支援事業

- ◆理数研究の裾野を広げる ⇒ 科学者育成の環境充実

出張講義で研究レベルを向上  
 実験・実習環境の充実支援

### 新 徳島サイエンス・ハイスクール事業

- サイエンス・イノベーション・ハイスクール  
科学技術で改革を起こす人材育成を目指す先進的な科学技術, 理数系教育の実践
- 「NIPPON」探究・ハイスクール  
人文科学・社会科学分野の「探究」を目指す世界の中の日本, 徳島を紐解く
- カリキュラム・マネジメント・ハイスクール  
「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す特色ある教育課程の研究

学校のレベルアップ



指定校での実践研究成果を県内・全国に発信

担当: 学校教育課

# 新 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

【令和元年度予算額 4,000千円】

## 事業の概要

- ・地方創生に資する高等学校改革を推進する文部科学省の委託を受けて行う事業
- ・地域課題の解決に向けた探究的な学びを実現する取組を進める高校を「地域協働推進校」に指定(全国で20校)
- ・市町村、高等教育機関、産業界等との協働によるコンソーシアムの構築によるカリキュラムの開発・実践、体制整備を推進

## 指定校

徳島県立城西高等学校神山校

(2019年度より学科を地域創生類に再編)

### コンソーシアム

高校生と地域課題の  
マッチングを実施

〔管理機関〕徳島県教育委員会

城西神山校プロジェクトチーム

城西高校神山校  
神山町  
(一社)神山つなぐ公社  
(株)フードハブ・プロジェクト

専門家による  
指導・助言

連携

地元企業、NPO、保育所、  
小・中学校、大学 等

専門人材の派遣  
交流・実践の場の提供

### 研究開発

①カリキュラム開発 ～学校設定科目「神山創造学」の再構築～  
「課題研究」の深化・他教科等と相互に関連させた指導・キャリア教育の充実・基礎学力の強化

②地域性を生かした教育環境の整備

- ・外部人材を活用した  
専門人材の配置
- ・習得した技術の活用  
による地域貢献と  
地域課題の発見



(地元食材の活用研究)



(造園技術の活用)

③学校を地域の生産・交流拠点に

- ・地域の種と苗を保存し、つなぐ「シードバンク」の実施
- ・人とモノが行き交う「校庭マルシェ」の実施

④地域を学びの場とした実践

- ・演習林を活用した「森林ビジョン」
- ・6次産業化学習と併せた「耕作放棄地対策」
- ・「石積み修復」技術の実践による  
地域の景観保全



(石積み修復作業)

持続可能な社会の発展に貢献する地域の担い手を育成  
地域振興の核としての高等学校の機能強化

担当：学校教育課

# 新 海外における商業教育システムレガシー活用・深化事業

【令和元年度予算額 3,000千円】  
【うち当初予算計上 680千円】

## エシカル商品の開発・流通・販売

### 安全・安心な商品の量産体制・適正な管理販売



カンボジア現地加工場



HACCP準拠レベル

### エシカル商品・フェアトレード商品として流通・販売



「ふれんじゅう」



地元の農産物使ったアイス



現地での市場調査

レガシー

## 地域貢献を通じた課題解決力の育成

### 地域貢献のモデル



学校運営のモデル化



商業教育の指導力向上



他校・他地域への普及

### 地域の産業振興・雇用の創出



クロマーなどの特産品



椰子砂糖



カシューナッツ農場との協働

## 活用・深化

【6月補正】

## 新 徳島商業高校生徒とカンボジアー日本友好学園生徒との交流の深化と連携強化

### ホストタウン特使の活動を通じた国際感覚の醸成



国際理解



ホストタウン特使の活動

### 加工場を活用した共同開発商品の充実・フェアトレードの充実



新たな商品開発



カシューナッツペーストの活用



新たな用途開発によるフェアトレード

商業教育システム構築の支援を通して  
国際感覚を身に付けたグローバル人材の育成

担当: 学校教育課

# 新 18歳！新成人への学びプログラム事業

【令和元年度予算額 16,200千円】  
（うち当初予算計上 11,700千円）

## 《現状》

- 18歳！
- 選挙権年齢
- 成年年齢
- 引下げへ

## 《課題》

- 若者の積極的な**社会参画意識**の高揚
- 持続可能な社会**づくりに挑む若者の育成
- 契約等において**適切に判断**できる若者の育成
- 子育てや家庭教育を**社会全体で支援する気運**の醸成

## 《取組み》

- 社会を「自分事」として捉えることのできる**主権者教育**の充実
- 「**エシカル甲子園**」により若者の実践を発信
- 安全・安心な地域社会**づくりの担い手を育成する事業の実施
- 次世代の家庭**を担う若者の育成と家庭教育の支援

### 新 YONONAKA「自分事」プロジェクト

主権者意識を高める教育の  
充実のための出前講座



大学教員による出前講座や選挙管理  
委員会の協力による模擬投票

高校生リーダー交流集会  
「サマーセミナー」



生徒会役員などのリーダーが学校  
や地域の課題をディスカッションし、  
行政に提案

### 新 「エシカル甲子園」プロジェクト

全国初!!

「エシカル甲子園」  
本選を徳島県で開催



予選で全国各地の代表を決定！  
持続可能な社会づくりに挑戦する高校生  
等が徳島に集う！



プレゼンテーション等で取組や今後の  
展望等を幅広い世代へ発信

6月  
補正

### 新 「ジュニア消費生活アドバイザー」育成事業

高校生消費生活啓発リ  
ーダー育成事業



高校生が契約や金融等を深く学び、  
地域での啓発活動を積極的に実施  
する学校を支援



ジュニア消費生活  
アドバイザー養成講座



高校生が消費生活に関する専門的な  
知識を深く学び、アドバイザーとなる  
人材を育成

6月  
補正

### 新 未来の家庭へつなぐ とくしまの若者育成事業

とくしま  
家庭教育のつどい



家庭教育に関わる保護者などが、  
家庭教育の重要性を学び、情報  
共有する機会を創出

中高生向け家庭教育  
ワークショップ



中高生向けの「親なびプログラム集」  
を作成し、「親なびげーたー」によりワ  
ークショップを実践



## 成人として自立し協働できる若者の育成

担当：学校教育課、生涯学習課

# 新 水素エネルギー「社会実装」推進事業

【令和元年度予算額 350,000千円】

## 地球温暖化対策の切り札「水素」

2020年を契機に  
飛躍的普及拡大が見込まれる

2025

### 大阪・関西万博

水素発電による電力供給  
水素モビリティでの圏域内移動  
**オリパラレガシーは  
関西に継承！**

2019

G20エネルギー  
環境大臣会議  
水素利活用を  
テーマに論議

2020～2021

東京オリンピック  
パラリンピック  
WMG2021関西  
水素タウン構想  
FCV新モデル投入

## 本県の取組み(H30)

「一步先の未来」を先取りし、着実な取組みを展開

- 地方空港初「SHS・FCFL」のセット運用開始
- 燃料電池バスツアー・試乗会の実施
- 普及啓発用4K動画・冊子の作成・発信
- 水素ビジネス研究会の創設・展開



## 「水素エネルギー」の社会実装を加速！

### 水素フロンティア確立支援事業

(345,200千円)

#### 「水素供給拠点」の構築【企業局積立金を活用】

○民間事業者が行う「水素供給拠点」整備に係る経費の一部を補助

副生水素を  
有効活用

通年でバス・FCVへの  
満充填が可能に！

副生水素の精製・圧縮

+

常時運用可能な水素ステーション

全国初！

副生水素を活用した  
地産地消・水素ステーション構築

- 災害時拠点
- 普及啓発拠点
- 四国の水素供給拠点

導入加速

#### 燃料電池バス実証運行

- 2020年導入に向けた実証運行及び課題検討
- 地域と連携した「防災訓練」の実施



走る「大型発電所」

需要拡大

#### 燃料電池自動車導入支援

- 民間事業者等を対象として購入経費の一部を補助

### 「水素グリッド」推進加速化事業

(2,154千円)

#### 警察車両への社会実装



ロンドン警視庁FCVパトカー・ミライ(写真提供:トヨタ自動車)

- 全国初となる燃料電池パトカーの導入
- 警察本部と連携した普及啓発・災害時対応の実証

#### 戦略的な普及啓発



動画・冊子  
公用車を  
フル活用！

- エネルギーの未来に向け若い世代への発信を強化

### 水素ビジネスモデル構築支援事業

(2,646千円)

#### 水素ビジネス研究会の強化



「シーズ」×  
「ニーズ」

- 産学官金連携のプラットフォームを構築し事業者の新たなビジネス展開を強力に支援
- 普及拡大セミナーや企業マッチングの実施

#### 水素モビリティの導入



- 新たな水素モビリティの実用化に向け県内企業・団体による調査・研究を促進

# 新 プラスチックごみ削減普及啓発事業

【令和元年度予算額 3,800千円】

## 現状

### 年間800万トンのプラごみが海洋へ流出

- ・海洋環境への影響
- ・船舶航行への障害
- ・観光及び漁業への影響
- ・沿岸域居住環境への影響



プラスチックを誤食するウミガメ

### 国際社会の動向

- ・「**海洋プラスチック憲章**」(2018.6 G7シャルルボワサミット)
- ・使い捨てプラスチックの**規制、使用禁止**(欧州、インドなど)

### G20大阪サミット

「プラスチックごみ削減にかかる**国際合意**」をめざす

### 日本の動向

「**プラスチック資源循環戦略(策定中)**」

使い捨てプラスチック**25%減**、レジ袋有料化**義務化**

## 対策

### 「環境首都とくしま」が世界をリード！

### 強みを活かした啓発活動の加速

#### 高い消費者意識

- ・NPO環境首都とくしま創造センターなどのNPO活動
- ・消費者庁新未来創造オフィス
- ・吉野川アドプトプログラム

#### 全国大会等

- ・消費者政策国際会合
- ・食品ロス削減全国大会
- ・川ごみサミット

- マイバッグ&マイボトル キャンペーン
- 県広報紙、新聞広告、雑誌、パネル展 等
- 環境学習出前授業、首都学校講座
- SNS、facebook、県HP 等

消費者意識の改革！

### レジ袋削減に取り組む事業者の支援

令和元年5月21日

イオンリテール(株)と「**レジ袋削減等に関する協定**」締結

6/1~  
レジ袋有料化スタート！

全県展開に向けて

#### ●協定締結事業者の支援

徳島県、消費者協会、とくしま環境県民会議が連携し  
県民の理解と協力が得られるよう支援！

#### ●小売事業者による「意見交換の場」の設定

協定締結事業者の拡大でレジ袋を大幅削減！

### 関西広域連合との連携

#### ●関西プラスチックごみ宣言

関西広域連合構成府県市  
による共同宣言

#### ●私のプラごみ削減提案

- アイデア募集によるプラごみ啓発
- ・G20会場でのパネル展示
- ・一斉広報

都道府県レベルでは初となる  
広域連合から強力に発信！

# SDGs(持続可能な開発目標)の達成

# 新 「緩和策」「適応策」で進める気候変動対策推進事業

【令和元年度予算額 9,000千円】

## ◆ 国際社会の動向

2018年12月に開催されたCOP24において、**パリ協定の実施指針**が採択。全ての国が削減目標を設定し実行！

## ◆ 国の動向

2018年12月1日に「**気候変動適応法**」が施行！

国内外の状況を踏まえ  
**取組を加速**

## ◆ これまでの県の取組

2017年1月に「すだちくん未来の地球条例」を施行。  
**「脱炭素社会の実現」**を掲げ、「緩和策」と「適応策」を両輪とした気候変動対策を明記。

- ★全国トップクラスの温室効果ガス削減目標設定
- ★気候変動への適応を意識した各種施策の実施

## 新たなアクション! 「緩和策」推進事業

- **徳島県地球温暖化対策推進計画**の策定 (4, 283千円)  
最近の国内外の状況を捉え、緩和策の**新たな指針**を策定。
- **カーボン・オフセットマッチ**の拡大  
スポーツの試合開催に伴うCO2排出量をゼロにする、**カーボン・オフセットマッチ**を拡大して実施。
- **地域省エネクレジット活用事業**の全県展開  
地域の省エネ活動によるCO2削減量に**インセンティブ**を付与し、地域の課題解決にも貢献する本事業を全県的に展開。



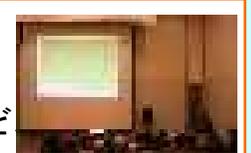
## ステップアップ! 「適応策」推進事業

- **地域気候変動適応センター**の開設 (3, 900千円)  
地域気候変動適応センターの設置に向けて、県民等への**モニター調査**や、適応の専門家との**ワークショップ**等を実施。
- **分かりやすい「適応策」の普及・展開**  
適応策を、よりわかりやすく説明した絵本や、温暖化に対応した農林水産物のPRにより、身近な**「適応策」**を啓発・推進し、県民の主体的な取組を促進。



## 「脱炭素型ビジネス創生フォーラム」事業

- **フォーラム**の開催 (817千円)  
脱炭素型ライフ・ビジネススタイルへの転換を促すとともに、気候変動の影響を**「新たなビジネスチャンス」**として提案するなど「**緩和策**」と「**適応策**」の両面から、県民・事業者へアプローチ。



# 徳島から“脱炭素社会”を実現！

# 農林水産業分野の気候変動対策に関する施策

【令和元年度予算額 7,144,610千円】  
 (うち当初予算計上 7,093,070千円)

気候変動による被害やリスクを最小限に止めつつ、温暖化に伴う生育適地の拡大など影響の及ぼす効果を最大限に活用。

## 農業 (48,500千円)

- ◆ **トロピカルフルーツ低コスト栽培技術の開発**
  - ・パイナップル、マンゴーなどの熱帯性果樹の最適な栽培作型の確立
- ◆ トンネルニンジンにおける **ICT栽培管理支援システムの開発**
- ◆ 変温管理による **菌床しいたけ低コスト栽培技術の開発**
- ◆ 機能性飼料を活用した **乳・肉牛の暑熱ストレス軽減技術の開発**
- ◆ 貯蔵性に優れた **スタチや温州ミカンの晩生品種の開発**
- ◆ 高温耐性のある **県産米オリジナル品種の開発**
- ◆ 高温耐性品種「あきさかり」の生産拡大に向けた技術的支援
- ◆ 気象変動による **スタチ貯蔵性低下に対応するための貯蔵技術・施肥体系改善の推進**
- ◆ 異常気象による **経済寿命低下に対応するためのナン改植推進**
- ◆ 雨よけハウス導入による **園芸品目(ほうれん草など)の作柄安定**
- ◆ 畑の水はけ改良のための **緩傾斜整備による湿害対策技術の実装**
- ◆ 世代交代の早い難防除微小害虫の「**薬剤感受性検定簡易キット**」の開発
- ◆ 農作業中の熱中症対策など **農作業安全運動の強化** など



熱帯性果樹



スタチ晩生系統 (左:晩生)



高温耐性品種「あきさかり」

## 水産業 (11,000千円)

- ◆ 気候変動に適応する **新たな「もうかる養殖魚」の創出**
  - ・温暖化に適応するため、南方系の高級魚であるハタ類の導入に向けた試験養殖を実施
- ◆ 色調に優れた **高水温耐性のワカメの新系統の開発・普及**
- ◆ **低塩分化に対応したスジアオノリ系統の開発** など



南方系高級魚のハタ類



スジアオノリ

## 森林・林業 (3,724,360千円 うち公共3,708,386千円)

- ◆ 地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>の吸収源となる森林を健全に育成するための **間伐や再造林など森林整備の推進**
- ◆ CO<sub>2</sub>吸収源対策を促進する「**県民総ぐるみの森林(もり)づくり**」の推進
- ◆ カーボンニュートラルな特性を持つ **木質バイオマスエネルギー利用の推進**
- ◆ 地球温暖化に伴い増加する **スギ花粉症対策としての「少花粉スギ苗」の生産拡大**
- ◆ 頻発・激甚化する豪雨災害などに備えるための **治山施設の設置など災害に強い森林づくりの推進** など



間伐後の健全な森林



県民参加の植林活動



少花粉スギ苗の増殖

## 生産基盤 (3,362,000千円 うち公共3,362,000千円)

- ◆ 渇水対策に資する効率的な水管理や、農業用水の **水温上昇を抑制し水稻の高温障害の防止を図る、農業用水のパイプライン化**
- ◆ 干ばつや豪雨から農作物の被害軽減を図る、**ため池などの整備・保全**
- ◆ 頻発化する集中豪雨などに備えた **排水路や排水機場などの整備や長寿命化対策の推進**
- ◆ 海水温の上昇など海域環境の変化に対応し、豊かな生態系を育み水産資源の増殖を図る **藻場造成の推進**
- ◆ 高潮から農村や漁村地域を守る **護岸整備の推進** など



用水のパイプライン化



農業ため池の整備



藻場造成

気候変動を迎え撃つ、強靱でしなやかなとくしま農林水産業を実現！

担当 : もうかるブランド推進課、林業戦略課、水産振興課、農林水産総合技術支援センター経営推進課、生産基盤課、森林整備課

# 新 園芸産地総合リノベーション事業

関係者が一体となって

ハンズオンの体制で、園芸産地のリノベーションを実践！

【令和元年度予算額14,300千円】  
（うち当初予算計上 6,000千円）

主要品目が抱える課題

## 野菜

### ①ほうれんそう, 枝豆, 大根

- ・ゲリラ豪雨・長雨により生産が不安定
- ・収穫出荷作業は手作業が多く  
労力負担が大きい



### ②にんじん

- ・出荷時期が集中



## 果樹

### ①すだち

- ・急傾斜地で、「作業性が悪い」
- ・「収益性が低く」、新規参入が難しい
- ・異常気象による「品質(貯蔵性)の低下」



### ②なし

- ・経済寿命を超えた樹が多く、「収量が低下」している
- ・未収益期間が長い  
ため本格的な改植が進まない



温暖化が助長

### ①ほうれんそう, 枝豆, 大根

- ・「**雨よけハウスの導入**」による作柄安定
- ・「**共同選果体制の整備**」による労力負担軽減
- ・「**農福連携**」等による労働力の確保



### ②にんじん

- ・「**貯蔵出荷及び年内どり作型**」の導入による出荷時期の拡大

### ①すだち(補正)

- ・**平坦地への移動**による作業性の向上
- ・「貯蔵技術の改善」「施肥体系の見直し」
- ・「**新品種の作出**」により**異常気象に対応**

### ②なし(補正)

- ・「**早期成園化**」「**省力化**」「**経営規模拡大**」が可能になる「**ジョイント仕立て**」を導入  
**産地の大幅な若返りを図る！**



ジョイント

### (補正)

- ・「**情報交換会、研修会開催**」
- ・「**とくしま花まつり**」による  
県産花きのPR
- ・「**花育活動**」による若い世代の認知度向上



## 徳島ブランド 産地リノベーション 推進会議

地域商社  
阿波ふうど

連携

課題解決  
推進チーム

取組課題・到達目標を設定



- ・強い農業・担い手づくり  
総合支援交付金
- ・産地パワーアップ事業
- ・農山漁村未来創造事業

**新たな担い手が  
生まれる産地へ！**



担当：もうかるブランド推進課

# 新魚づくり革命・もうかる養殖魚創出事業

【令和元年度予算額 5,000千円】

## 背景

- ・海水温の上昇や栄養塩の低下など、海洋環境の変化
- ・目新しさや機能性など、水産物に対する消費者ニーズの多様化
- ・「すだちぶり」「オリーブハマチ」など、養殖技術や餌の開発による新ブランドの台頭

## 現状

- ・養殖魚の水産エコラベルの認証取得を支援
- ・高水温耐性ワカメ新品種の開発・普及
- ・藻類養殖における施肥技術の開発

## 課題

- ・気候変動適応対策の強化・拡大
- ・消費者ニーズに応える付加価値の高い水産物の創出

国や大学、民間企業等と連携した次世代型魚類養殖技術の開発！！

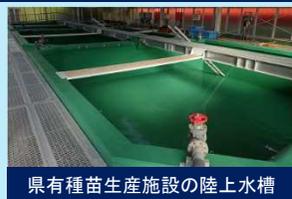
### 陸上施設を活用した養殖技術の開発

○温暖化に対応すべく、南方系の高級魚である、ハタ類の導入に向けた試験養殖を実施



南方系高級魚のハタ類

- 国の水産研究機関等との連携による、量産化に向けた養殖技術を開発



県有種苗生産施設の陸上水槽

- 海上に比べて環境の変動を受けにくい、陸上水槽を活用

次代の養殖業を担う

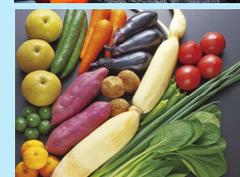
「ハタ類の陸上養殖技術を開発」！！

### 県産品を活用した餌料の開発

○養殖魚の食品としての機能性を高め、付加価値を向上させるために、「ゆこう」や「トマト」などの県産農産物や未利用資源等を活用した餌料を開発



- 餌料メーカー、養殖業者等との連携による、県産品を活用した餌料を開発



- 餌料による養殖魚の肉質等の変化を科学的に検証

新たな機能性やエシカルな視点を持つ

「徳島ならではの養殖用餌料を開発」！！

○消費者ニーズ、温暖化に対応した、新たな養殖魚の販売戦略を策定

- 産地間競争を勝ち抜くために、生産者、流通業者、販売業者、メディア関係者等が一体となって、ストーリー性のあるブランドを確立

県外、海外（東アジア）を視野に入れた

「消費者ニーズに対応したマーケティング」！！



消費者ニーズや海洋環境の変化を先取りした、徳島ならではの「もうかる漁業」を創出！！

# 新 里山の「宝」を再発見！にぎわい拠点整備事業

【令和元年度予算額 151,300千円】  
（うち2月補正予算計上 151,300千円）

## ★コンセプト

中山間地域において誰もが活気に満ちあふれた里山づくり  
－ 伝統・技術の継承とにぎわいあふれる交流拠点－



### カンキツ人材育成拠点

県内外から「とくしまのカンキツ」  
栽培を担う人材を集め育成

ミカン  
スダチ・ユズ  
ユコウなど

既存施設の  
有効活用  
旧果樹研究所を  
リノベーション

### にぎわい交流拠点

県外・県内の方々や大学生などによる  
多様な交流が生み出す地域の活性化

#### ● カンキツ人材育成協議会

関係市町村，JA等で組織

- ◆ 篤農家からの技術指導を受ける体制づくり
- ◆ 新規就農者の園地や住居等の確保・支援
- ◆ 担い手確保のための情報発信



#### ● 徳島かんきつアカデミー

H31.3月開講

新規就農のほか就業段階に応じたリカレント教育

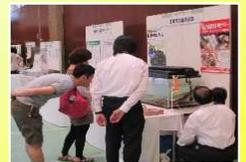
- ◆ 中核的人材育成コース  
栽培，加工，販売などの一貫した研修を，一年間実施
- ◆ 特定技術力向上コース  
せん定や施肥設計など特定項目の研修を，短期間実施



定員15名に対し、  
58名の方が受講

#### ● 整備する新たな機能

- ◆ 滞在施設  
大学生フィールドワークなど活用
- ◆ 多目的ホール・交流スペース  
ギャラリーなど多目的な利用による交流の場
- ◆ 屋上展望スペース  
星空観察、バーベキュースペース
- ◆ 食品加工施設  
6次産業化商品の開発
- ◆ 熱帯果樹の展示温室  
パイナップル、マンゴー等のポット栽培



活気に満ちあふれた中山間地域の「にぎわい」を創出

担当：農林水産総合技術支援センター経営推進課

# 新 新たな出会いSPOT創出事業

【令和元年度予算額1,500千円】

## 道路橋としての役割を終えた「出合橋」の活用

### ①メンテナンス技術の開発

全国にも類のない  
実橋を実験フィールドに活用

#### ○研究機関との連携

インフラメンテナンスを先導

【H30年度】

- ・橋梁健全度評価手法の検証(京都大学)
- ・地震損傷度予測システムの構築(徳島大学)

【R元年度】

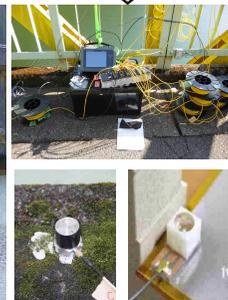
- ・画像解析による点検簡素化の手法構築(徳島大学)
- ・土木学会誌などを利用し情報発信(オールジャパンでの活用)

官学協働で推進



【実験状況】

那賀川



各種計測機器(センサー類)

### ②にぎわいの創出

出合(橋)で出会い！  
絶好のロケーションを活用

#### ○地域との連携

移住・定住への一助に

- ・那賀町内のイベントと連携
- ・婚活イベント会場に使用
- ・カーヌーやインフラツーリズムとの連携を検討
- ・LEDイルミネーション化の検討

出会いをかなえる・『幸せの黄色い橋』をPR



豊富な地域資源

出合橋

土木技術の発展に寄与

観光振興・地域活性化に寄与

土木技術の継承に寄与

### ③次世代の人材育成

新旧の歴史資源を  
野外学習の場として活用

#### ○教育機関との連携

- ・新旧橋梁で橋の歴史や技術発展を学習
- ・センサーやドローン等を使ったIoT学習
- ・人材育成(小・中・高生対象)

【新旧橋梁】

土木技術を次世代に！



出合ゆず大橋(新橋)

出合橋(旧橋)



那賀町との連携(ドローン特区)



生きた題材を活用

# マイナスからプラスへ！「リタイアインフラ」から新たな価値を創造

担当：道路整備課

# 「とくしま回帰」住宅対策総合推進事業

【令和元年度予算額 28,155千円】  
【うち当初予算計上 21,155千円】

**背景**

県内の利用予定のない空き家 約36,000戸 (H25住宅・土地統計調査) ▶ 空き家バンク登録件数 累計約600件 (H30.8.31時点)

県外からの移住者数 H29 1,200人 **増加傾向** 「地域の資源」としてさらに掘り起こし可能

住まいの選択肢の多様化, 消費者ニーズの多様化 ▶ 気軽に相談できる**専門家**の必要性 (今後リフォーム意向のある世帯のうち「**専門家や業者の情報**が得にくい」37.1% (H25住生活総合調査))

**取組方針**

- 移住希望者に提供できる空き家のさらなる掘り起こしを図る
- 誰もが安心して住まいを選択できる環境整備により県内住宅産業の活性化を図る

意識醸成  
情報提供

## 新 「使える空き家」掘り起こし促進事業 【2,100千円】

◆**空き家バンク活用加速**  
意向調査, 空き家判定により**透明性が確保された**物件を提供

◆**ノウハウブック**  
提供のQ&Aや事例紹介による**不安解消**ときっかけづくり



支援センター  
自ら先導

## 新 「とくしま・移住・DIY」空き家利活用促進事業 【3,900千円】

◆**DIYワークショップ**  
体験による**活用の動機付け**と新たな**利活用層**の発掘

活用の可能性  
を体感!!

「リタイア  
インフラ」  
から  
新たな  
価値を  
創造

## 空き家リノベーション支援事業 【4,000千円】

※空き家再生等促進事業32,000千円の内数



拡充

◆**空き家判定支援**  
8万円のところ 個人負担 2万円 ⇒ **8千円**  
(市町村による上乗せ補助あり)

◆**個人住宅**  
補助額 100万円  
移住者向け住宅, セフティネット住宅 等 (県25万円)

◆**その他施設**  
補助額 320万円  
交流施設, サービス付き高齢者向け住宅 等 (県80万円)

## 「とくしま回帰」住宅対策総合支援センターを核とした

「とくしま回帰」  
住宅対策総合  
支援センター

## 住まいのワンストップ支援

支援センターの  
機能拡充!!

## 新 とくしまの住まい魅力発信事業 【1,000千円】

◆**住まいの「総合」相談窓口**  
空き家に加え、住まいに関するあらゆる相談に対応

◆**とくしま住まいアドバイザー(仮)の認定・活用**  
・住まいに関する様々な分野の**スペシャリスト**を認定  
・**出前講座・出張相談会**の実施  
・消費者目線の**セカンドオピニオン**を提供

県内住宅産業の  
活性化



## 「とくしま回帰」住宅対策総合支援センター事業 【17,155千円】

総合的な  
空き家対策

◆**空き家の専門相談窓口**  
移住セミナー、出張相談会など**プッシュ型**の相談対応

◆**積極的な意識啓発**  
福祉団体・高齢者施設との連携、ウェブサイトでの事例紹介

◆**専門人材の育成・活用**  
空き家判定士、空き家コーディネーターの活用



# 多様な支援の展開による「住みたい『とくしま回帰』」を実現

# 未来につなげる広報広聴事業

【令和元年度予算額 160,038千円】  
【うち当初予算計上 152,038千円】

**目的** 人口減少等による社会情勢や、SNSの普及によるメディアの利用環境の変化に対応するとともに、全国、そして世界に、より多くの「徳島ファン」を獲得するため、新機軸の広報を展開する。

## 当初予算事業

**広報紙**



魅力的な紙面に！

・ 県政情報をわかりやすく！旬の話題をお手元にお届け

**広報番組**



二次利用の拡大！

・ 地上波 週2回放送  
・ 番組素材を再活用したショートムービーをSNS配信！

**県ホームページ**



AI要約 AI・FAQの実装

・ 動画撮影技術向上のための職員研修

**県広報のページ**



・ 県内版新聞広告

**もっと来て来て！とくしまPR事業**



・ 県外版新聞広告  
・ フリーペーパーの活用

**クロスメディア戦略による広報事業**



・ 国内向けSNS広告配信  
・ タウン情報誌の活用

県民へ 全国の人へ 若者へ

## 新規事業(6月補正)

### 新機軸の広報展開 全庁発信力レベルアップ

**海外向け“攻め”の情報発信**

海外ファンの獲得 インバウンド誘客強化

**外国語サイトの強化**

- スマホタブレット版の最適化
- 動画紹介ページのデザイン性向上

**SNS広告での配信**

- 各部署制作の海外向け動画等を広告配信！
- 居住地・年齢層などターゲティング
- 3言語・地域で展開

**地域密着情報の充実**

県民目線の徹底！

**CATV放送番組**

- 全国屈指のケーブルテレビ網の活用
- 県民密着型テーマによる新規・特別番組を制作

# 地域密着から世界まで、未知なる徳島の注目度UP!!

# 新 鳴門公園解説板多言語化事業

【令和元年度予算額 24,000千円】

## 鳴門公園の解説板の現状



徳島の玄関口:鳴門公園



### ○園内22箇所で見所を紹介

- ・渦潮に関するさまざまな知識
- ・周辺で見られる動植物の紹介
- ・特色ある自然環境の解説



## 問題点

- ・解説板の老朽化
- ・日本語のみの解説文
- ・文字情報が主体で情報不足

鳴門公園のイメージアップのため  
早急な対策が必要！

2020年  
東京オリ・パラ  
開催！

ICTを活用した多言語化対応で  
鳴門公園の魅力を強力に発信！

ワールド・マスターズ  
ゲームズ'2021関西  
開催！



ICTの活用で圧倒的な  
情報量の増加を実現！

ビジュアル面の強化により  
直感的に内容を把握！

## 外国人目線による魅力的な解説文の作成

- ・既設解説文にとらわれず、一から作成
- ・ネイティブライターへの支援による解説文の再構成
- ・4カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)による多言語化

## ICTを活用した多言語解説板のリニューアル

- ・QRコードを活用し、多言語化サイトへリンク
- ・GPSによる園内各所へのルート案内

# 自然公園における外国人旅行者の満足度向上！

担当：環境首都課

# 更なるコウノトリペアの定着に向けた取組み

【令和元年度予算額 1,400千円】  
(うち当初予算計上 1,100千円)

## 現状



2017年から3年連続でヒナがふ化



2018年には同時期に最大24羽が確認されたが、負傷するコウノトリも発生



## 対策 個体識別が不可欠！

## 負傷個体の保護体制確立が課題！

### コウノトリ育み事業 (1,100千円) [当初]

「コウノトリ定着推進連絡協議会」のメンバーが中心の足環装着プロジェクトチーム



連携

全国の動物園や自治体が加盟するIPPМ-OWS(コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル)

- ★ ヒナへの足環装着
- ★ 足環装着のための人材育成
- ★ 営巣環境の整備

### 新 コウノトリ里親センター(仮称) 設立事業 (300千円) [補正]

#### コウノトリ里親センター(仮称)

- ・ 治療および一時保護先の確保
- ・ 最終ケア先の選定
- ・ 協力者・運営資金の確保



コウノトリ定着推進  
連絡協議会



IPPМ-OWS  
加盟団体

- センター設立方針検討会の開催  
有識者らによる  
**センター設立方針の決定**
- コウノトリ保護先進施設の視察  
先進地視察による  
**徳島型センターのアイデアを収集**
- IPPM-OWSとの連携体制の構築  
負傷したコウノトリの  
**最終ケアを行う場所の選定**

# コウノトリをシンボルとした生物多様性保全の普及啓発へ！

# 新 県産特A米「あきさかり」生産拡大事業

【令和元年度予算額 3,000千円】

高温耐性品種である県産米「あきさかり」が食味ランキングで最上位となる「特A」を取得！こうした流れを“更なる生産拡大”につなげる。

・近年、気候変動(夏場の高温)による品質低下(水稻の白未熟粒)が顕著

対応

・高温耐性品種「あきさかり」を県の奨励品種に採用(H28)  
・官民をあげた生産拡大

H30年産食味ランキングで県産米「あきさかり」が、県で初めて「特A」を取得

・優良種子の確保対策  
・「特A」継続取得に向けた栽培技術の確立  
・更なる販路の拡大

## 「あきさかり」について

〔品種特性〕 高温耐性品種, 多収性, 良食味(コシヒカリと同等), ほ発芽が少ない(キヌヒカリに替わる品種として推進)

〔作付面積〕 H28:140ha → H29:474ha → H30:980ha → R1:1,500ha以上(見込み)



## 優良種子の確保対策

### ①「あきさかり」種子生産ほ場への転換・確保

- ・種子生産展示ほの設置
- ・品種特性に応じた種子生産技術の普及



水稻種子栽培講習会(美馬市)

### ②種子生産管理の効率化

- ・品種ごとにほ場を集約  
混種の防止と作業の効率化
- ・「ほ場管理システム」の導入実証  
ほ場管理の効率化と管理作業の統一
- ・ドローンによる生育診断・防除作業の実証  
作柄の安定と病害虫防除の効率化



ドローン防除

## 「特A」の継続取得に向けた栽培技術の確立

### ①「あきさかり」の多収性や良食味などの特徴を活かした栽培方法の普及

- ・プロジェクトチームによる栽培技術の検証・マニュアル化
- ・「特A」栽培技術の実証ほの設置



左:あきさかり 右:キヌヒカリ

## 更なる販路の拡大

### ①「プロジェクトチーム」による販売戦略の展開

- ・あきさかりの特徴を売りにした販売戦略の企画提案  
「甘味, 香り, ほどよい粘り(冷めても美味しい!)」



### ②「特A米(あきさかり)」の特徴を活かした消費宣伝

- ・イベント等でのPR  
量販店、商店街との連携によるイベント等でのPR販売
- ・企業とタイアップ  
スポーツチームや企業の社員食堂等におけるPR
- ・SNSによるPR  
SNSを活用した産地や生育状況を情報発信
- ・「料理教室」や「おにぎり教室」など通じたPR  
米穀団体が主催する, 児童・生徒, 一般消費者が対象の米消費拡大事業でのPR



例:量販店米コーナーでの美食PR



「食育フェスタ」での「おにぎり教室」



例:スポーツ会場でのPR

## 気候変動に対応した県産「あきさかり」の生産拡大を実現!

担当:農林水産総合技術支援センター経営推進課

# 新 法人会計等検査体制強化事業

【令和元年度予算額 4,600千円】

## 法人検査の趣旨

- 農林水産団体・社会福祉法人等の健全経営の確保・内部管理体制の充実を目的として、各法律に基づき実施

## 検査対象法人等数

- 農林水産団体 (各協同組合・土地改良区) 152団体
- 社会福祉法人・施設 (老人ホーム・保育所等施設) 64法人・190施設
- 私立学校 14校
- 公益法人 86法人 (H31.4月現在)

## 法人検査における課題

- ☆会計基準の高度化・専門化
- ☆法人等へのコンプライアンスの要請の高まり
- ☆指導監査ガイドラインの改訂
  - ・会計検査項目の増加
  - ・会計専門家の活用の明記
- ☆膨大な検査資料の準備
- ☆長時間にわたる現地検査

## 法人会計検査の高度化

- 公認会計士（特別検査員）の活用
  - ☆社会福祉法人の会計監査に新たに導入
  - ☆法人への専門的な助言
  - ☆職員のスキルアップ

## 高機動性を確保したモバイルワーク体制の確立

- タブレット端末の本格的導入
  - ☆機動的な検査体制の確保
    - ・チェックシートのデータ化
    - ・FAQや過去指摘事例の検索
  - ☆指導部局とのリアルタイム連携
    - ・インターネット回線による情報共有

## 人材育成

- 専門職を目指す学生への研修の場の提供
  - ☆県内大学・社会福祉法人と連携
  - ☆法人会計のケーススタディ

## 法人検査の「働き方改革」

- ☆検査にかかる総所要時間の大幅な削減 (受検団体職員、検査担当職員双方の負担軽減・業務従事時間の縮減)
- ☆タブレット利活用によるペーパーレス化の推進

- ☆専門的知見による的確な指摘・助言！
- ☆効率的で負担の少ない現地検査の実現！
- ☆指導部局との連携による迅速な課題解決！

## 抑止力の向上

# 法人運営の適正化・健全化の推進！

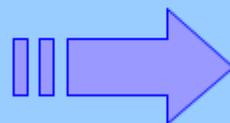


# 運転免許更新センター整備事業

【令和元年度予算額 26,000千円】

## 運転免許行政の現状 ~ 県民の意見を反映した更なる行政サービスの向上へ ~

運転免許の即日交付は松茂町の運転免許センターのみ。  
県民へのアンケート調査を実施した結果、  
「より近い場所」での「即日交付」を望む意見が多く  
寄せられた。

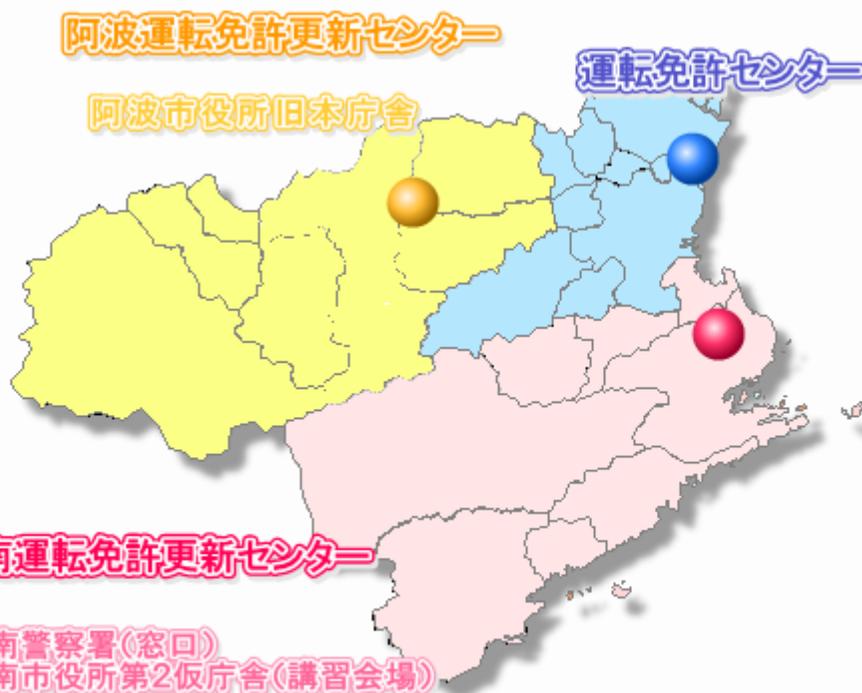


県南部及び県西部に「運転免許更新センター」を整備し、県下3箇所 で「即日交付」の利便性を拡充。  
遠隔地等へのフォローアップとして、「出張型更新」  
等を実施予定。

## 令和元年度事業内容

県内における運転免許人口等の状況を踏まえ、県南部及び県西部に運転免許の即日交付を可能とする、運転免許更新センターを設置するため、システム改修等の環境整備を行う。

## 令和2年度中の運用開始に向けて



担当：運転免許課

## 自然エネルギーを取り巻く情勢

- I. 温室効果ガス排出削減の国際枠組み「パリ協定」の発効等による**非化石価値**の高まり
- II. 「第5次エネルギー基本計画」が掲げる再生可能エネルギーの**主力電源化**
- III. 「次期・推進戦略」における2030年度自然エネルギーによる電力**自給率50%**の目標設定

太陽光発電の急速な普及

風力・バイオマス発電への相次ぐ民間参入  
(3施設: 出力184,300kW-電力供給337,000世帯分)

水力エネルギー導入拡大への期待

### 日野谷発電所の最大限活用

#### 【現状と課題】

- ダム運用による貯水位低下から有効落差が減少⇒公営企業で最大の発電能力(出力62,000kW)を生かし切れていない



#### 【方向性】

- 洪水時における**水利使用許可の弾力的運用⇒ゲート放流水の未利用エネルギー活用**による出力の回復
  - 最大取水量のアップ  
60⇒62m<sup>3</sup>/s (2m<sup>3</sup>/s程度)
  - 年間発生電力量の増加  
100万kWh (320世帯分)

#### 【具体的内容】

- 実機試験による取水能力確認
- 水利使用許可の変更



既設砂防ダム(神山町)

### 小水力発電の導入

#### 新神領発電所(仮称)建設事業

#### 【具体的内容と効果】

- 普及促進への**「先導的モデル」**
  - 野間谷川 神山町の**廃止発電所跡**
  - 系統**連系が容易な出力49kW**
  - 既設・砂防ダム活用による**コスト縮減**
  - ノウハウ蓄積・効果の見える化
- 平時における**電力の「地産地消」**
  - 年間発生電力量37.9万kWh (一般家庭120世帯分)
- 災害時**非常電源**として活用
  - 昼夜問わずEV等へ充電可能

➢ 地産地消による地方創生

➢ 地域防災力の向上

#### 小水力発電事業化プラン協働推進事業

#### 【現状と課題】

- 賦存量は豊富なものの、FITによる導入は5箇所にとどまる
- 市町村では技術者が不足

#### 【具体的内容】

- 水力発電で培った**技術力・経験を活用**
  - 市町村との**協働による有望地点の掘り起こし**
  - 地域のニーズにマッチした**事業化プランの提案**
  - 「**事業化推進Team**」による**導入までのサポート**…県民環境部と連携

(イメージ)



プッシュ式導入支援

#### 自然エネルギー地産地消モデル普及促進事業 (H30実証実験)

中山間地の農業用水等に取水している溪流の水エネルギーに着目し、災害時にも活用できる**「ピコ水力発電機」**を阿南高専と共同で開発・設置 ⇒ 穴吹川支流(美馬市)2箇所



## 既存施設の最大限活用や小水力発電導入により「脱炭素社会の実現」へ！

担当: 事業推進課